

## 平成 27 年度 特定健診・特定保健指導の実施状況に関する調査分析

平成 29 年 6 月  
IT 推進部データ分析推進グループ

### 調査の概要

本調査分析は、集計対象となった 1,054 組合(特定健康診査対象者:934 万 3,654 人)の特定健診・特定保健指導データをもとに、特定健康診査の実施率や特定保健指導の実施率のほか、メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合、減少率、服薬の状況など、平成 27 年度の特定健診・特定保健指導の実施状況についてとりまとめたものです。

### 【調査結果のポイント】

1,054 組合の特定健康診査の対象者数は約 934 万人、受診者数は約 680 万人で、特定健康診査実施率は 72.8%、被保険者では 85.5%、被扶養者では 42.1%となっている(p.4)。

年齢階層別の特定健康診査実施率では、被保険者では 50-54 歳:88.0%、被扶養者でも 50-54 歳:45.1%が最も高い割合を示している(p.5)。

特定健康診査実施率の組合分布状況では、実施率 70～80%未満:405 組合が最も多く、被保険者では実施率 90%以上:643 組合、被扶養者では実施率 40～50%未満:221 組合が最も多い(p.6-p.7)。

1,054 組合の特定保健指導対象者数は約 128 万人で、保健指導対象者の割合は 18.3%となっている。また、特定保健指導終了数は約 19 万人で、特定保健指導対象者に占める割合(特定保健指導実施率)は 15.2%となっている(p.8)。

保健指導レベル別の実施率は、積極的支援:13.5%、動機づけ支援:17.7%となっている(p.10-p.11)。また、特定保健指導実施率の組合分布状況では、積極的支援、動機づけ支援ともに実施率 10%未満が最も多い(p.12-17)。

特定健康診査実施率を組合形態別にみると、単一組合:74.6%、総合組合:69.9%となっており、被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では単一組合:87.6%、総合組合:82.3%、被扶養者では単一組合:46.0%、総合組合:34.3%となっている(p.30-p.31)。

特定保健指導実施率を組合形態別にみると、単一組合:19.8%、総合組合:7.8%となっており、被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では単一組合:20.7%、総合組合:7.9%、被扶養者では単一組合:8.4%、総合組合:5.8%となっている(p.35)。

業態別に被保険者の特定健康診査実施率をみると、複合サービス業:92.4%が最も高く、次いで 飲食料品小売業:92.3%、農林水産業:92.2%となっている(p.41)。

## 目次

1 . 特定健康診査対象者の割合 .....	4
2 . 特定健康診査実施率 .....	4
3 . 年齢階層別にみた特定健康診査実施率 .....	5
4 . 特定健康診査実施率の組合分布状況 .....	6
5 . 特定保健指導対象者及び特定保健指導実施率 .....	8
6 . 年齢階層別にみた特定保健指導実施率 .....	9
( 1 ) 合計 .....	9
( 2 ) 積極的支援 .....	10
( 3 ) 動機づけ支援 .....	11
7 . 特定保健指導実施率の組合分布状況 .....	12
( 1 ) 合計 .....	12
( 2 ) 積極的支援 .....	14
( 3 ) 動機づけ支援 .....	16
8 . 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群該当者の割合 .....	18
9 . 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群予備群の割合 .....	19
[ 参考 ] 男女別にみた内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合 .....	20
10 . 内臓脂肪症候群該当者・予備群の減少率 ( 対前年度比 ) .....	21
11 . 特定保健指導対象者の減少率 ( 対前年度比 ) .....	22
12 . 服薬 ( 高血圧症、脂質異常症、糖尿病 ) の状況 .....	23
( 1 ) 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合 .....	23
( 2 ) 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合 .....	25
( 3 ) 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合 .....	27

### 組合形態 ( 単一、総合 ) 別にみた特定健康診査・特定保健指導の実施状況

1 . 特定健康診査の実施状況 .....	30
( 1 ) 特定健康診査実施率 .....	30
( 2 ) 年齢階層別特定健康診査実施率 .....	31
( 3 ) 特定健康診査実施率別の組合分布状況 ( 構成割合 ) .....	32
2 . 特定保健指導の実施状況 .....	35
( 1 ) 特定保健指導実施率 .....	35
( 2 ) 年齢階層別特定保健指導実施率 .....	36
( 3 ) 特定保健指導実施率別の組合分布状況 ( 構成割合 ) .....	37

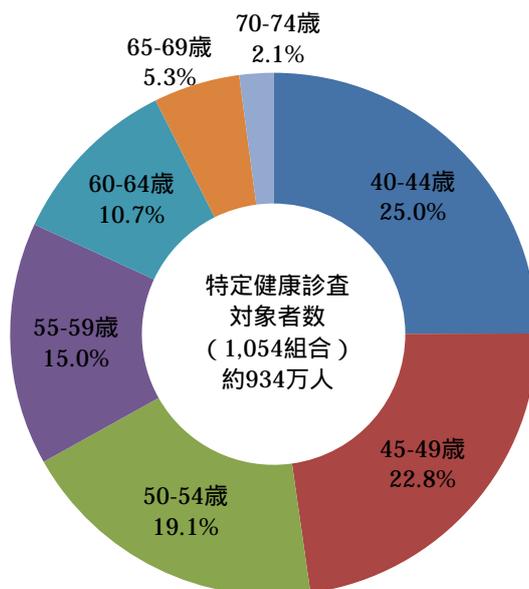
### 業態別にみた「被保険者」の特定健康診査・特定保健指導の実施状況

1 . 被保険者の特定健康診査実施率 .....	40
2 . 被保険者の特定保健指導実施率 .....	42
3 . 被保険者の内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合 .....	43
( 1 ) 該当者.....	43
( 2 ) 予備群.....	44
4 . 被保険者の3疾患の治療に係る薬剤を服用している者の割合 .....	45
( 1 ) 高血圧症 .....	45
( 2 ) 脂質異常症 .....	46
( 3 ) 糖尿病.....	47

## 1. 特定健康診査対象者の割合

年齢階層別に特定健康診査対象者<sup>1</sup>(1,054 組合:約 934 万人)の割合をみると、40-44 歳:25.0%と最も高く、次いで、45-49 歳:22.8%、50-54 歳:19.1%となっている。

特定健康診査対象者の割合



## 2. 特定健康診査実施率

1,054 組合の特定健康診査実施率<sup>2</sup>は全体:72.8%で、被保険者:85.5%、被扶養者:42.1%となっている。

区分	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診実施率	評価対象者数 <sup>3</sup>
合計	9,343,654 人	6,804,942 人	72.8%	7,001,974 人
被保険者	6,619,728 人	5,659,072 人	85.5%	5,817,903 人
被扶養者	2,723,926 人	1,145,870 人	42.1%	1,184,071 人

<sup>1</sup> 健康診査対象者は当該年度末(3月31日)を基準とし、年度途中で喪失した者は除く。

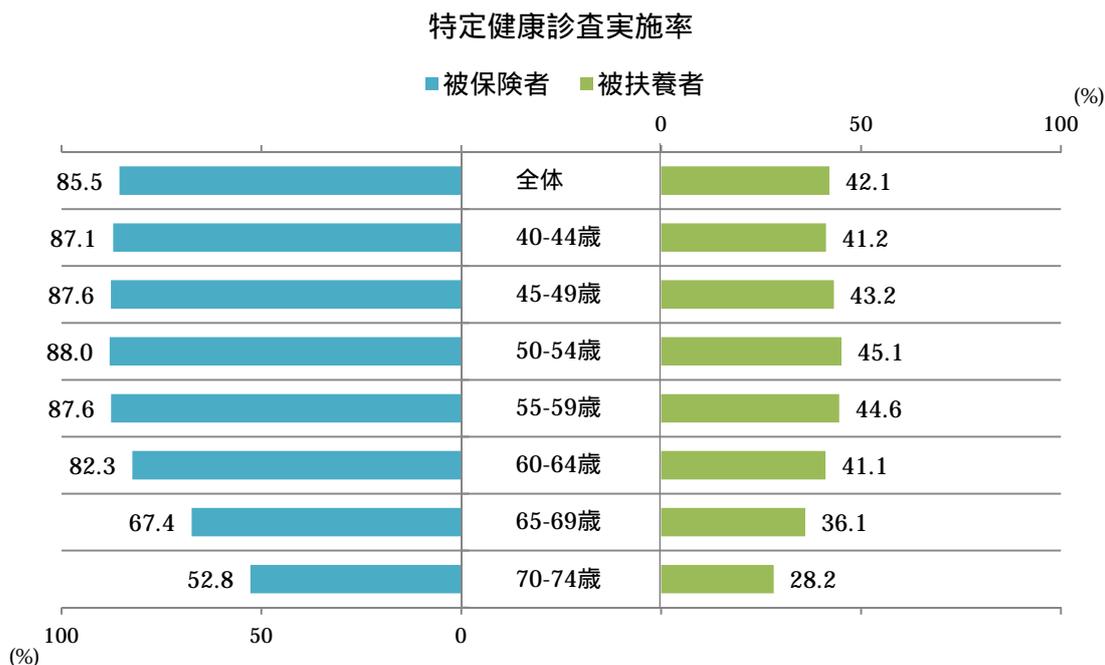
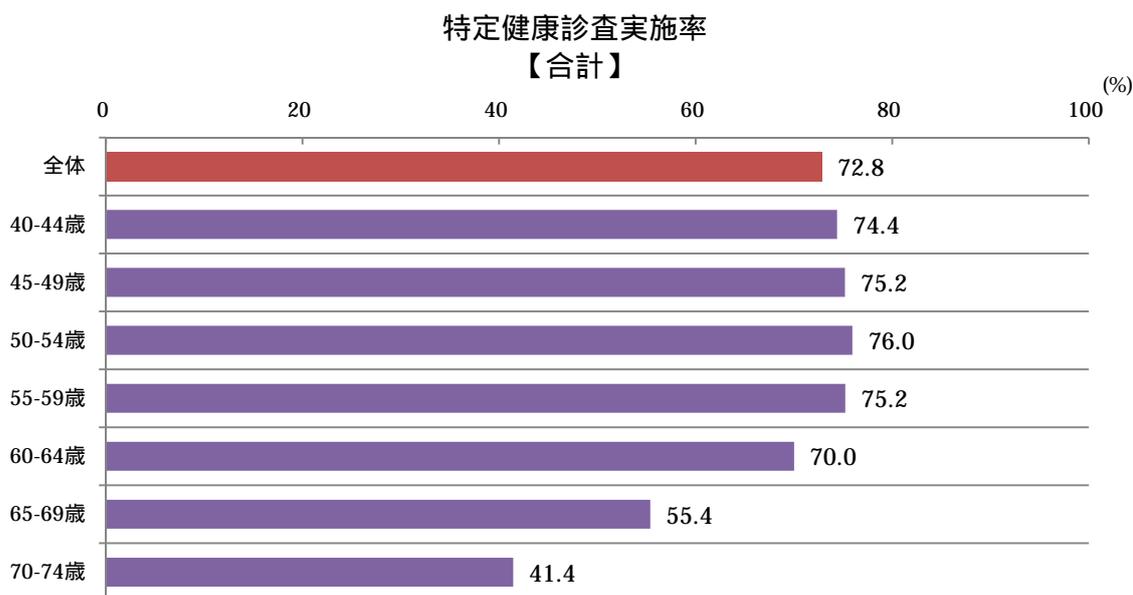
<sup>2</sup> 特定健康診査受診者数÷特定健康診査対象者数。なお受診者数は、特定健康診査における基本的な健診項目を全て実施した者の数。

<sup>3</sup> 特定健康診査項目の一部を実施できなかったものの、実施した健康診査の項目から、特定保健指導の対象者か否かを判断できる者に、特定健康診査受診者を加えた者。

### 3. 年齢階層別にみた特定健康診査実施率

年齢階層別に特定健康診査実施率をみると、全体：72.8%に対して、最も高いのは50-54歳：76.0%で、次いで、45-49歳及び55-59歳：75.2%、40-44歳：74.4%となっている。

被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では全体：85.5%に対して、50-54歳：88.0%、45-49歳及び55-59歳：87.6%、40-44歳：87.1%の順に高く、被扶養者では全体42.1%に対して、50-54歳：45.1%、55-59歳：44.6%、45-49歳：43.2%の順に高い。



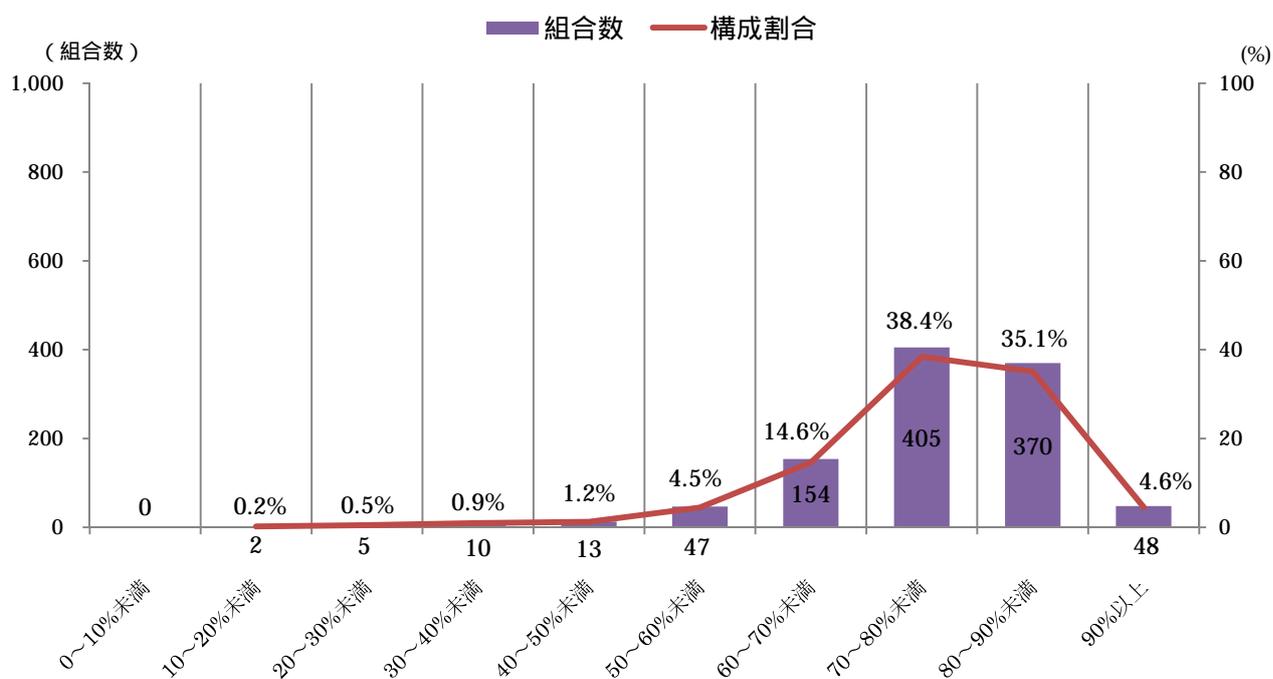
#### 4. 特定健康診査実施率の組合分布状況

特定健康診査実施率の組合分布をみると、70～80%未満:405 組合が最も高く、次いで、80～90%未満:370 組合、60～70%未満:154 組合となっており、60%以上:977 組合で全体の約9割を占めている。

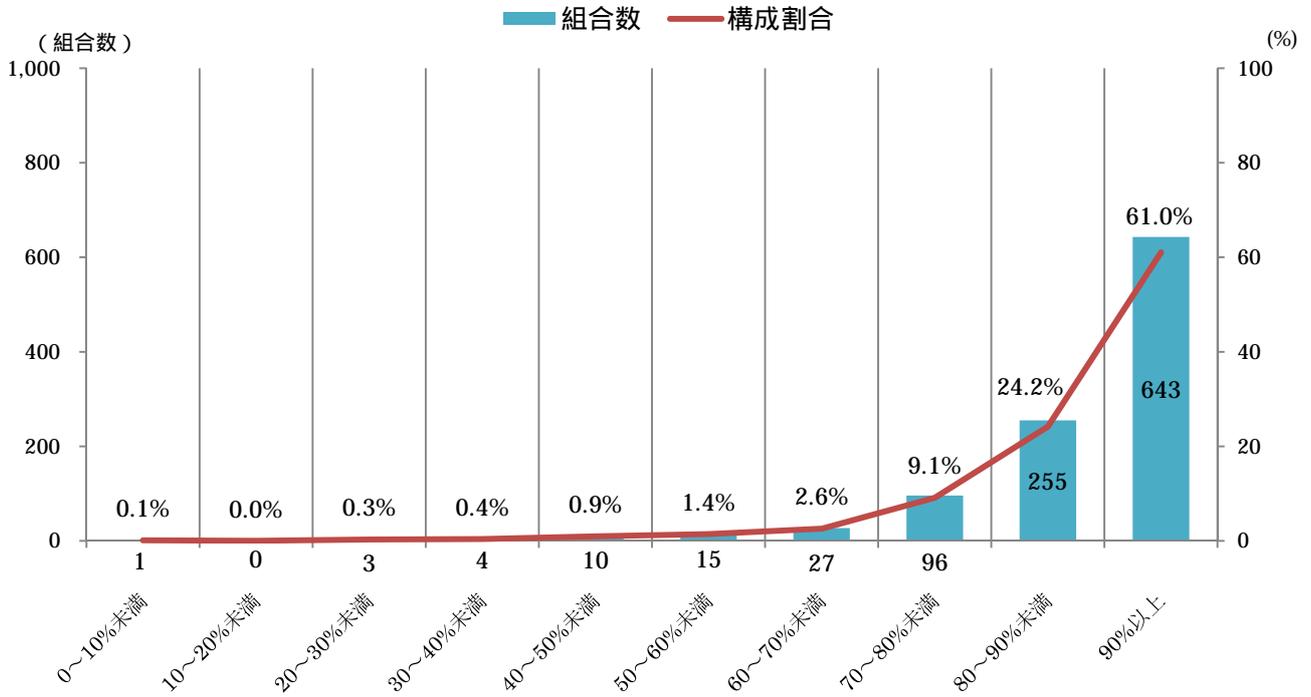
被保険者・被扶養者別にみると(p.7)、被保険者では90%以上:643 組合、80～90%未満:255 組合、70～80%未満:96 組合の順に高く、70%以上:994 組合で全体の約9割を占めている。

一方、被扶養者では、40～50%未満:221 組合、30～40%未満:217 組合、50～60%未満:197 組合の順に高く、60%未満:850 組合で全体の約8割を占めている。

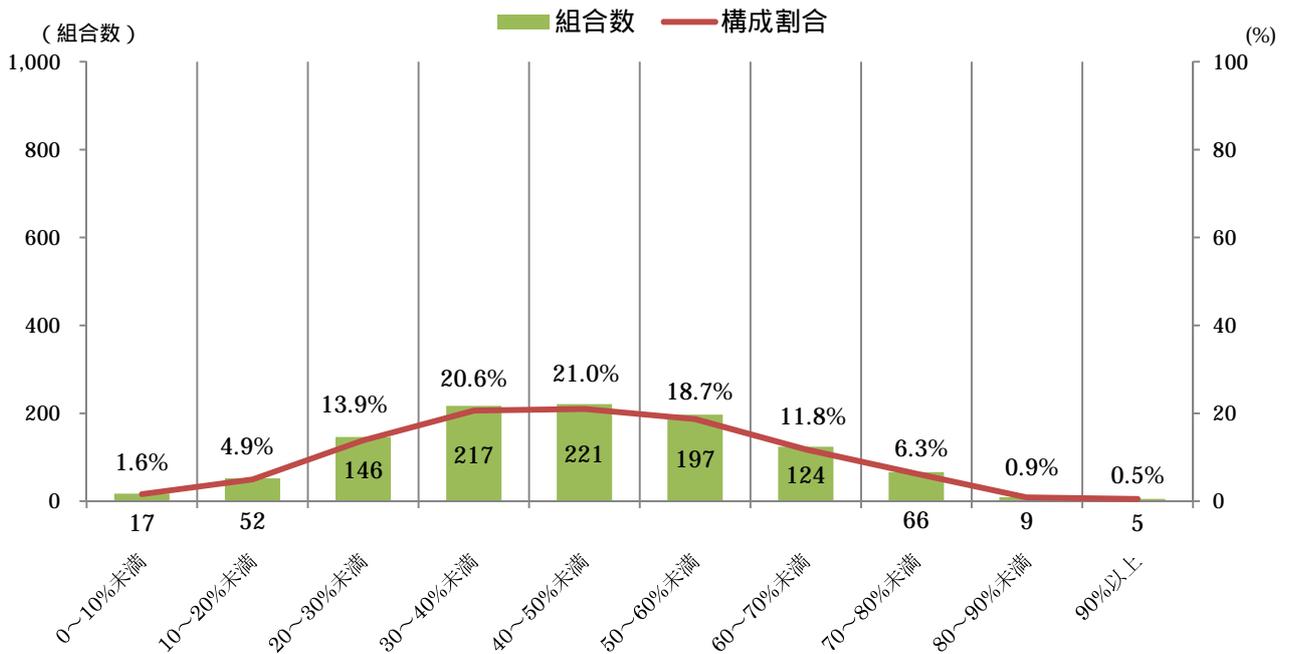
特定健康診査実施率の組合分布状況（構成割合）  
【合計】



特定健康診査実施率の組合分布状況（構成割合）  
【被保険者】



特定健康診査実施率の組合分布状況（構成割合）  
【被扶養者】

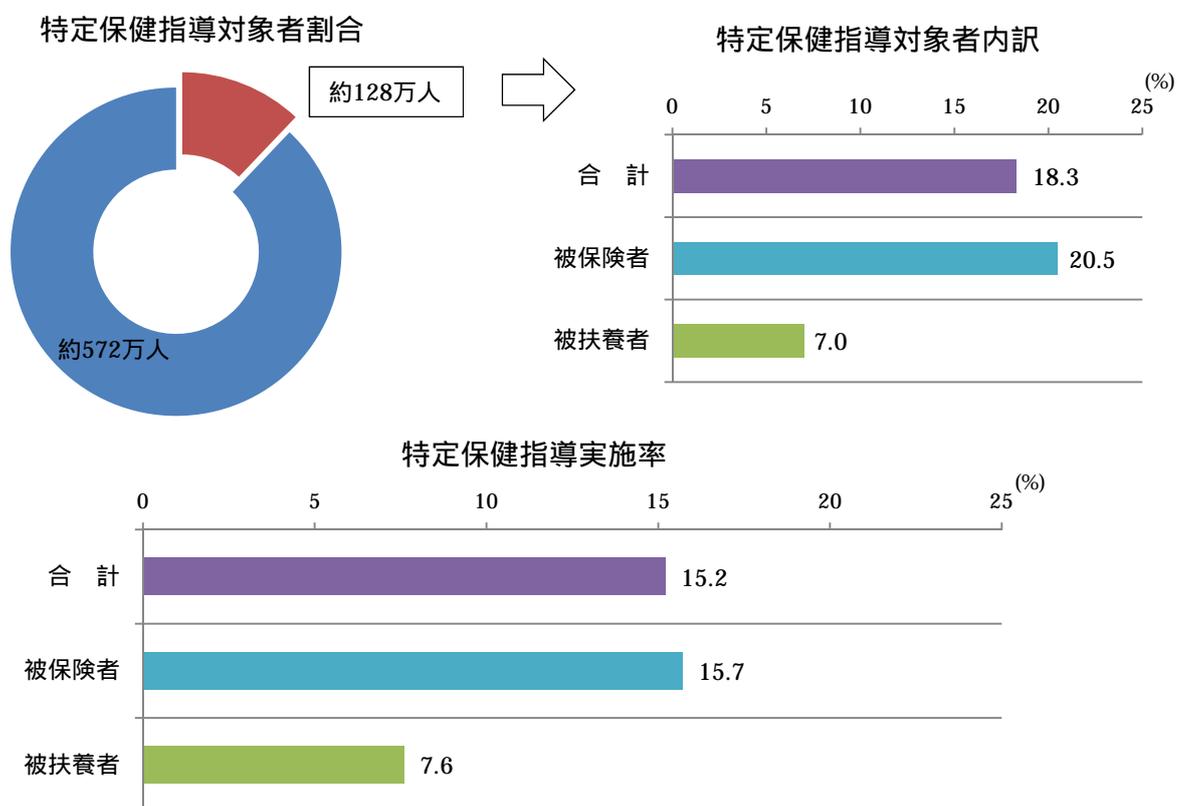


## 5. 特定保健指導対象者及び特定保健指導実施率

平成 27 年度に特定健康診査を受けた者のうち、特定保健指導の対象者<sup>4</sup>になった者の割合<sup>5</sup>は全体:18.3%、被保険者:20.5%、被扶養者:7.0%となっている。

また、特定保健指導対象者のうち、特定保健指導を終了した者の割合(以下、「特定保健指導実施率」という。)は全体:15.2%、被保険者:15.7%、被扶養者:7.6%となっている。

区分	特定保健指導対象者数	評価対象者数	特定保健指導対象者の割合	特定保健指導終了者数	特定保健指導実施率
合計	1,277,800 人	7,001,974 人	18.3%	194,359 人	15.2%
被保険者	1,195,138 人	5,817,903 人	20.5%	188,045 人	15.7%
被扶養者	82,662 人	1,184,071 人	7.0%	6,314 人	7.6%



<sup>4</sup> 特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者。なお、特定健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者とは、特定健康診査の結果、腹囲が 85cm 以上 (男性)・90cm 以上 (女性) の者、または腹囲が 85cm 未満 (男性)・90cm 未満 (女性) の者で BMI が 25kg/m<sup>2</sup>以上の者のうち、血管 (については空腹時血糖が 100mg/dl 以上、または HbA1c (NGSP 値) 5.6%以上)(空腹時血糖値及び HbA1c (NGSP 値) の両方を測定している場合には、空腹時血糖の値を優先とする。)、脂質 (については、中性脂肪 150mg/dl 以上、または HDL コレステロール 40mg/dl 未満)・血圧 (については、収縮期 130mmHg 以上、または拡張期 85mmHg 以上) に該当する者 (糖尿病、高血圧または脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者を除く) である (出所: 厚生労働省保険局「特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」p.8)

<sup>5</sup> 特定保健指導対象者 ÷ 評価対象者数。

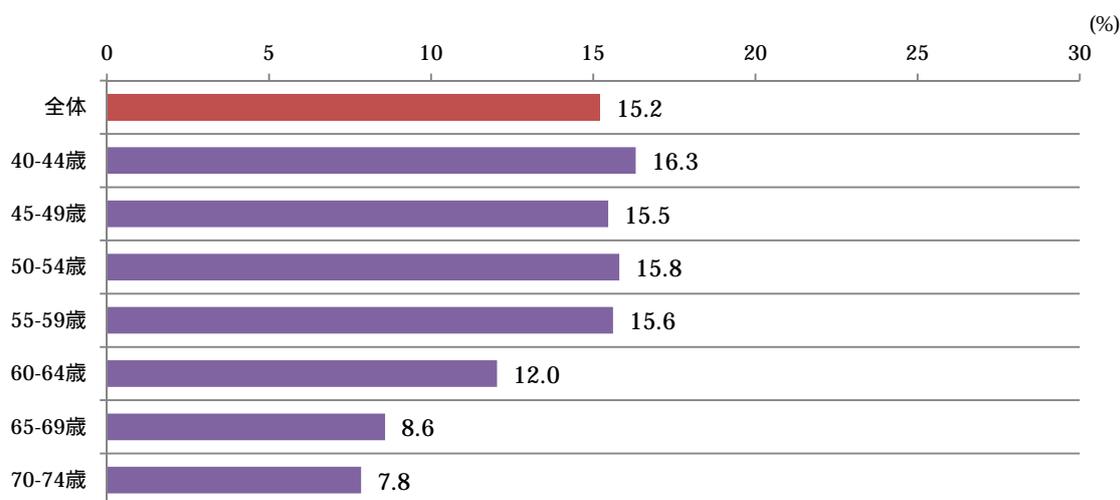
## 6. 年齢階層別にみた特定保健指導実施率

### (1) 合計

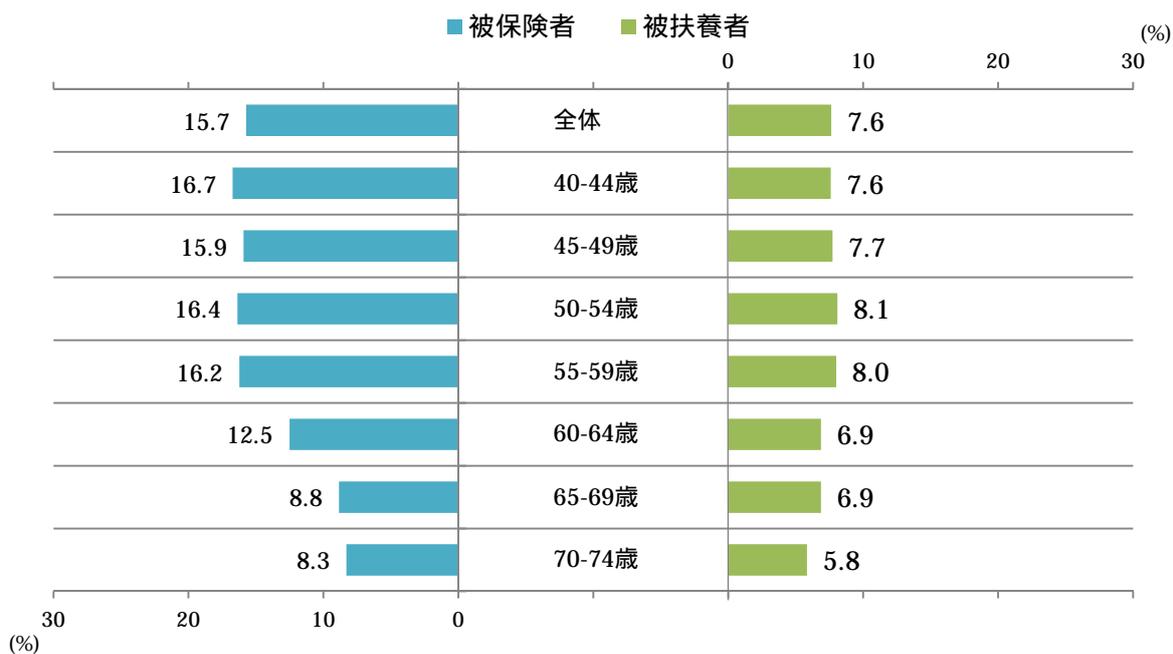
年齢階層別に特定保健指導実施率をみると、全体：15.2%に対して、40-44歳：16.3%が最も高く、次いで、50-54歳：15.8%、55-59歳：15.6%となっている。

被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では全体：15.7%に対して、40-44歳：16.7%が最も高く、被扶養者では全体7.6%に対して、50-54歳：8.1%が最も高い。

年齢階層別特定保健指導実施率  
【合計】



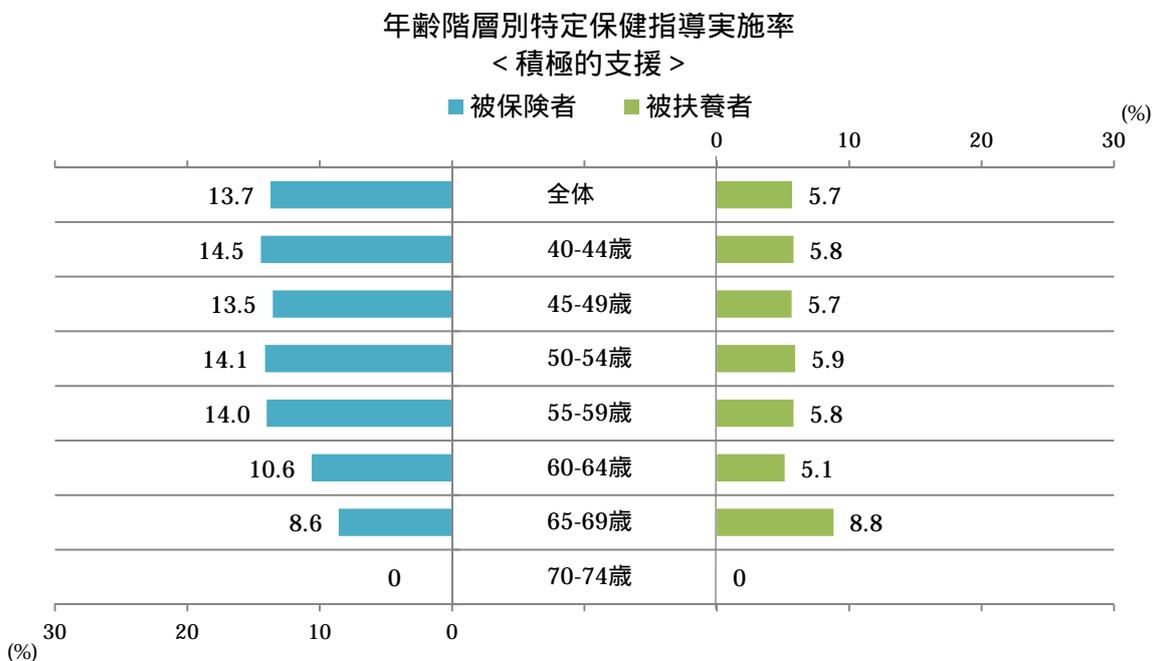
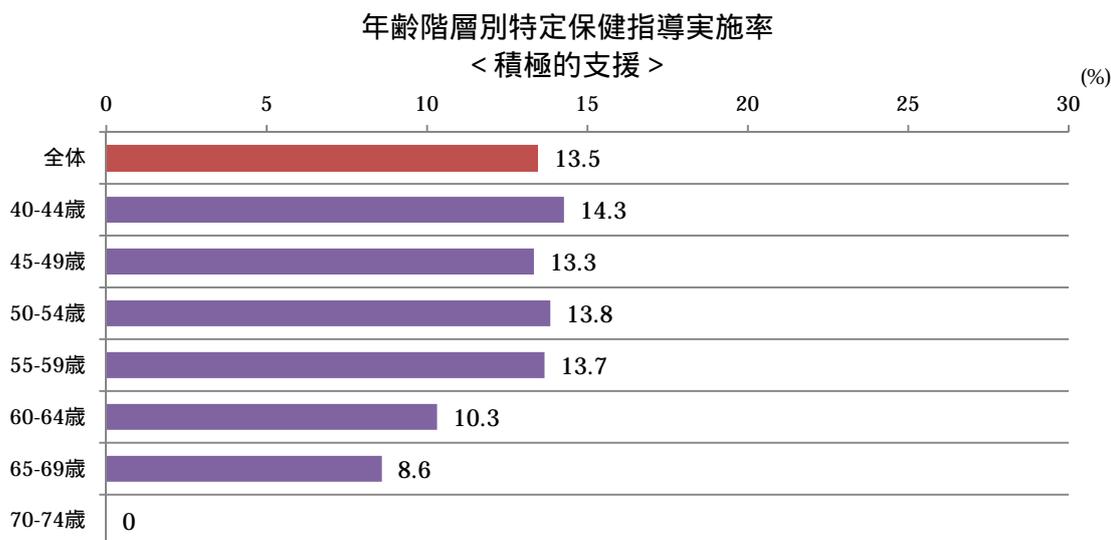
年齢階層別特定保健指導実施率



(2) 積極的支援<sup>6</sup>

年齢階層別に＜積極的支援＞について実施率をみると、全体：13.5%に対して、40-44歳：14.3%が最も高く、次いで、50-54歳：13.8%、55-59歳：13.7%となっている。

被保険者・被扶養者別に＜積極的支援＞について実施率をみると、被保険者では、全体：13.7%に対して、40-44歳：14.5%が最も高く、被扶養者では、全体：5.7%に対して、50-54歳：5.9%が最も高い。

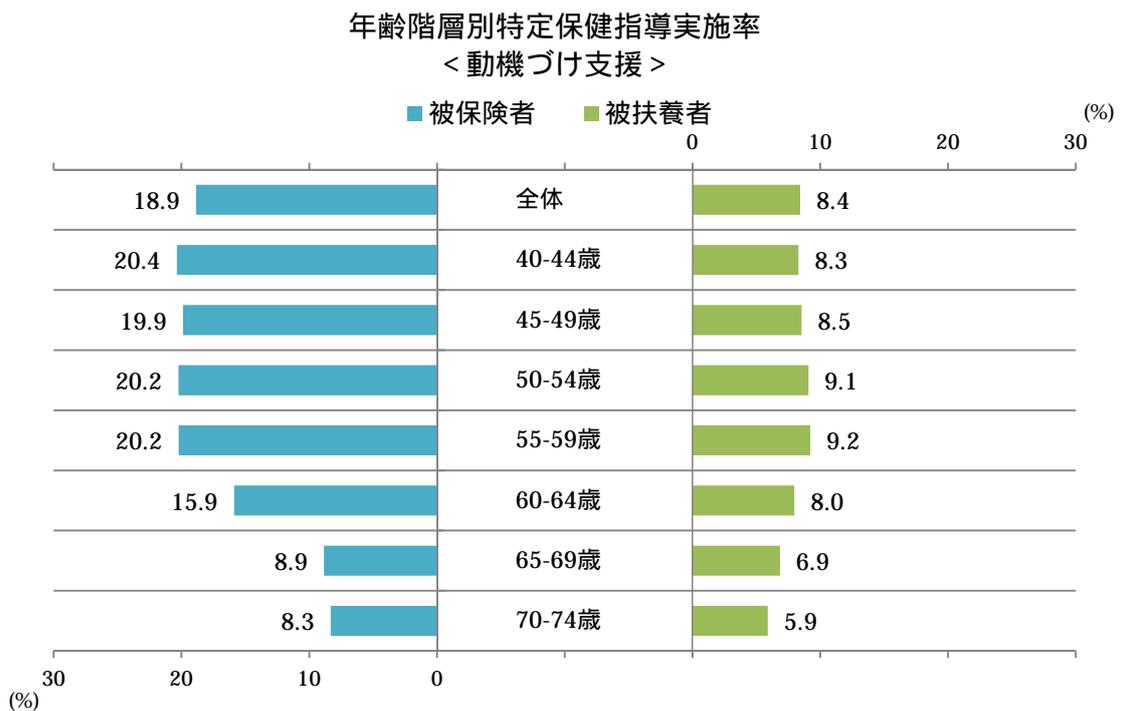
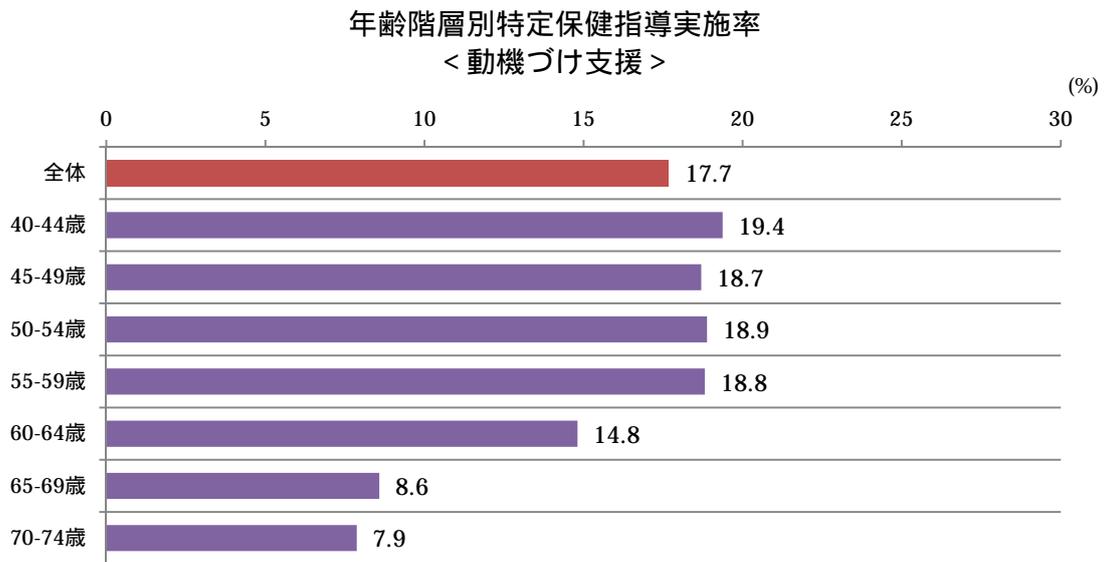


<sup>6</sup> 前期高齢者(65歳以上75歳未満)については、「積極的支援」の対象となった場合でも「動機づけ支援」とすることになっているが、本集計に「積極的支援」としてデータが存在するため、そのまま掲載した。ただし、本文中ではこれを除外している。

(3) 動機づけ支援

年齢階層別に＜動機づけ支援＞について実施率をみると、全体：17.7%に対して、40-44歳：19.4%が最も高く、次いで、50-54歳：18.9%、55-59歳：18.8%となっている。

被保険者・被扶養者別に＜動機づけ支援＞について実施率をみると、被保険者では、全体：18.9%に対して、40-44歳：20.4%が最も高く、被扶養者では、全体：8.4%に対して、55-59歳：9.2%が最も高い。



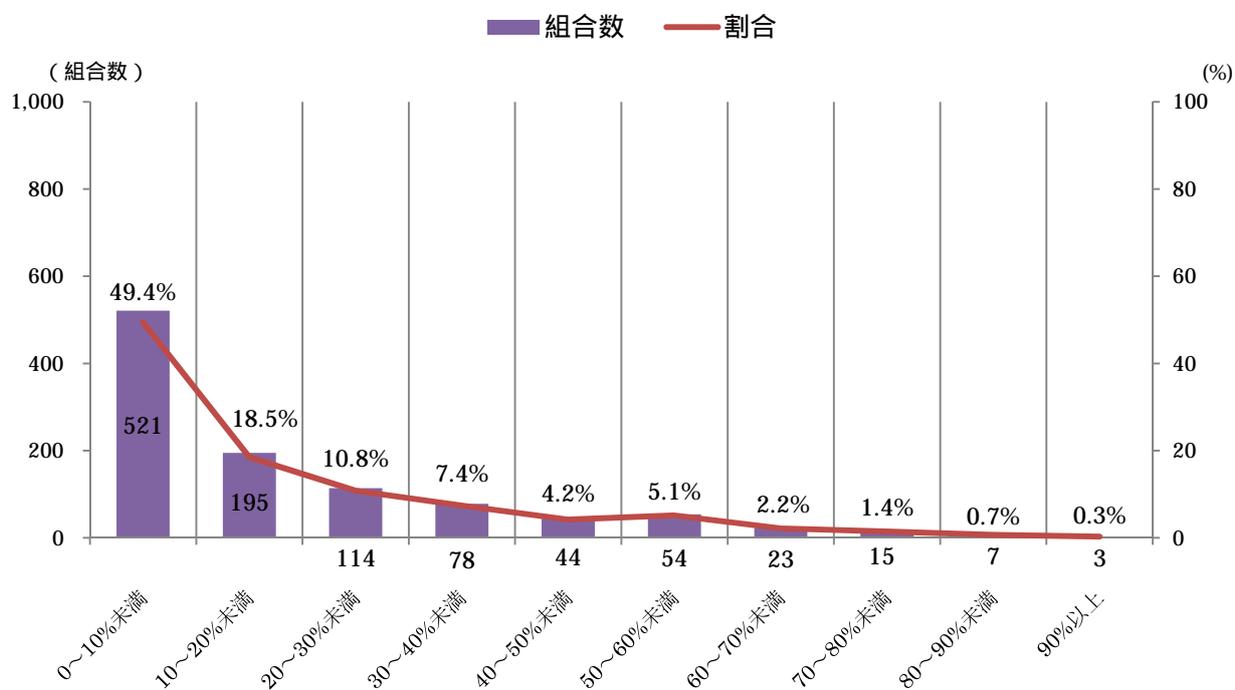
## 7. 特定保健指導実施率の組合分布状況

### (1) 合計

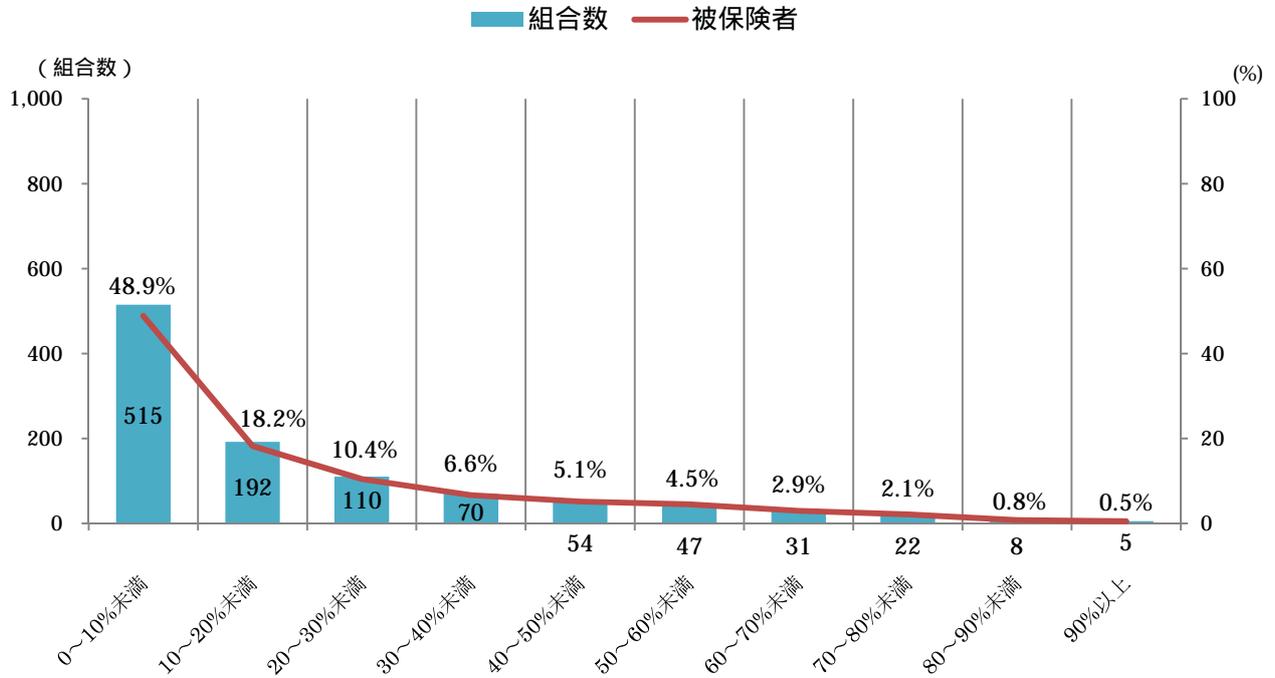
特定保健指導実施率の組合分布状況をみると、0～10%未満:521 組合が 49.4%と最も多く、30%未満:830 組合で全体の約 8 割を占めている。

被保険者・被扶養者別にみると(p.13)、被保険者では 40%未満:887 組合で全体の約 8 割、被扶養者では 10%未満:837 組合で全体の約 8 割を占めている。

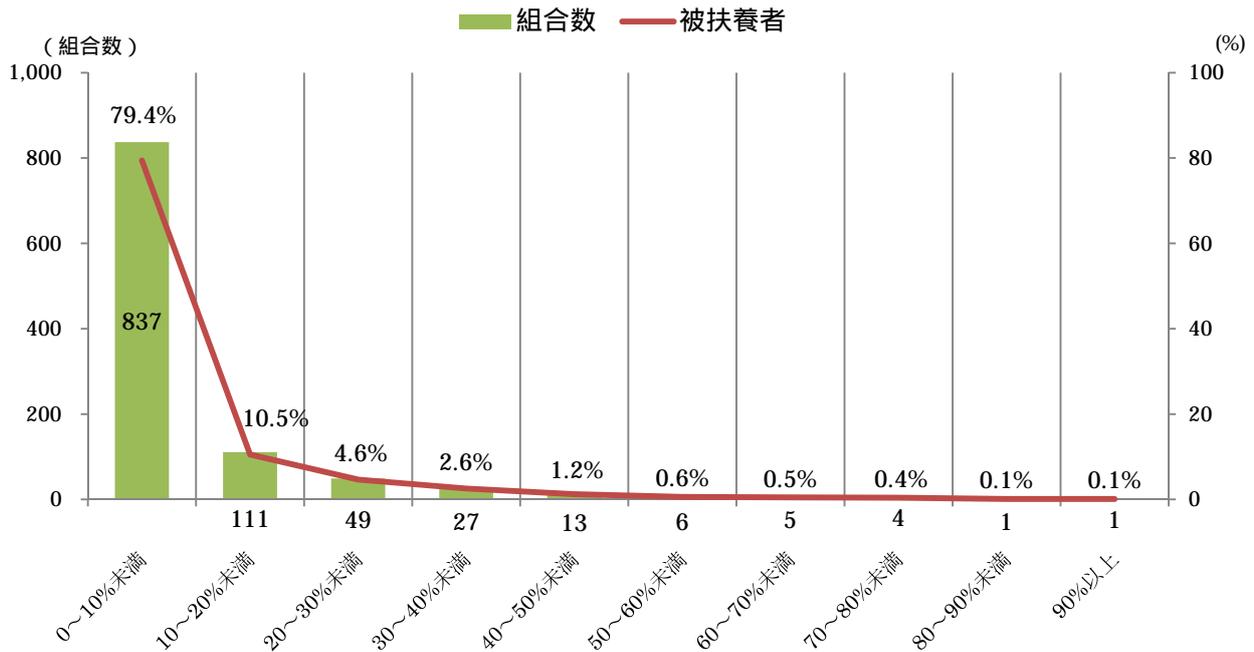
特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
【合計】



特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
【被保険者】



特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
【被扶養者】

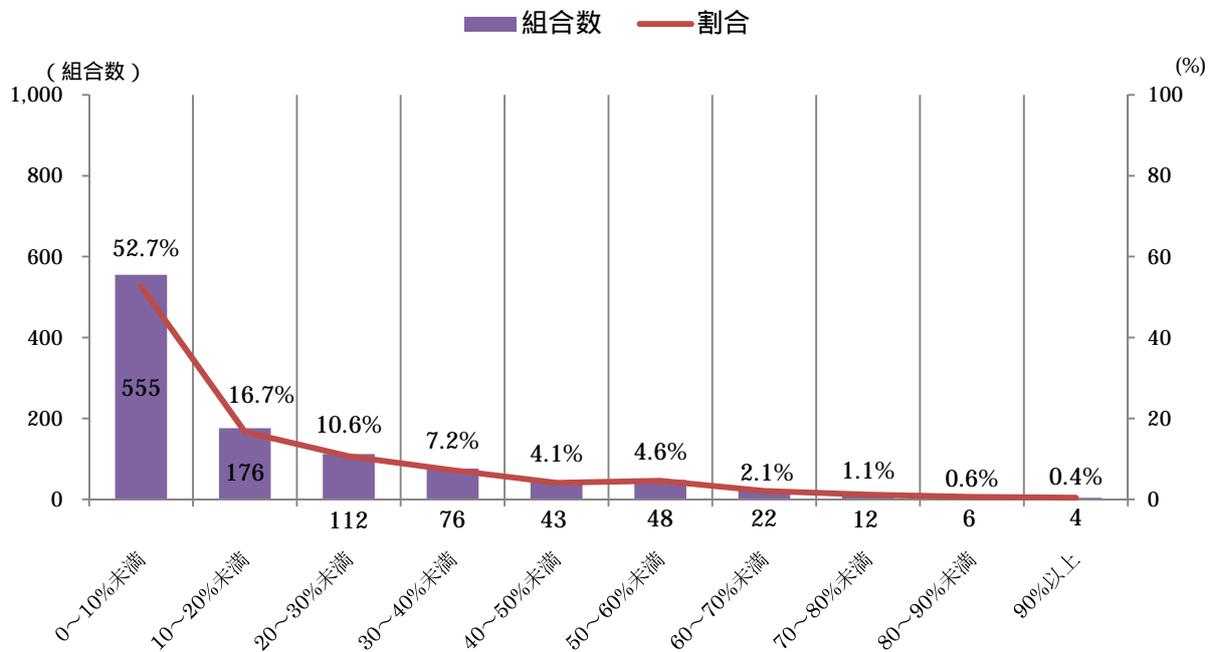


( 2 ) 積極的支援

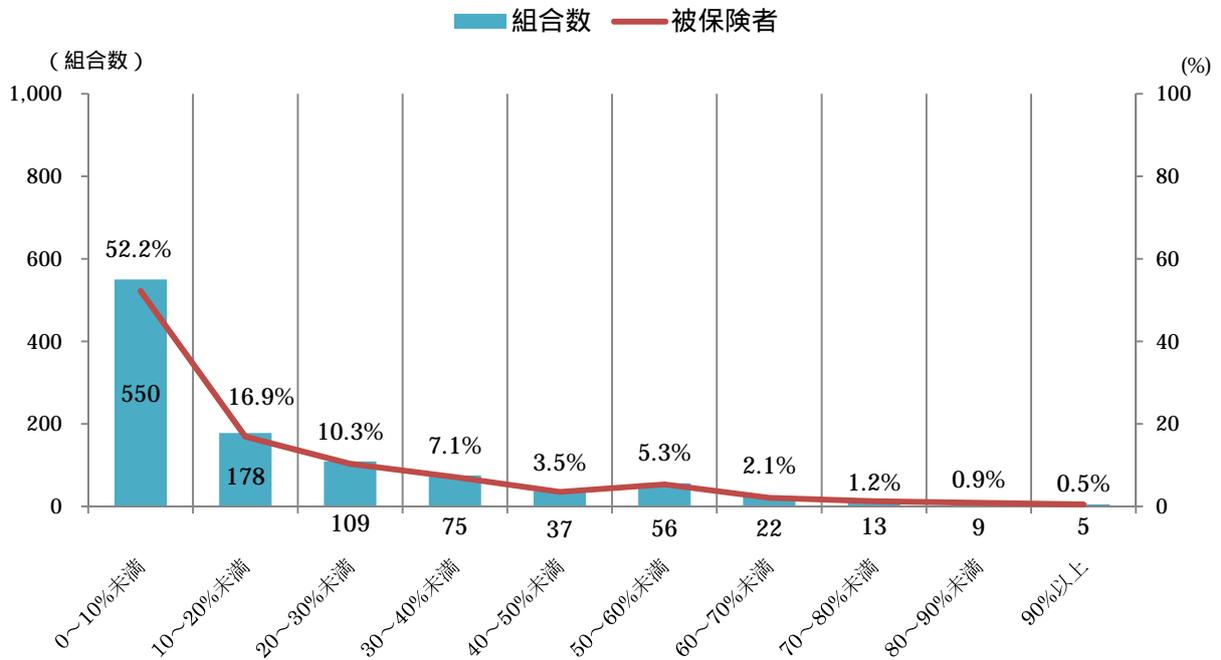
< 積極的支援 > について実施率の組合分布状況をみると、0～10%未満:555 組合が52.7%と最も多く、30%未満:843 組合で全体の約 8 割を占めている。

被保険者・被扶養者別に < 積極的支援 > についてみると(p.15)、被保険者では 40%未満:912 組合で全体の約 9 割、被扶養者では 10%未満:898 組合で全体の約 9 割を占めている。

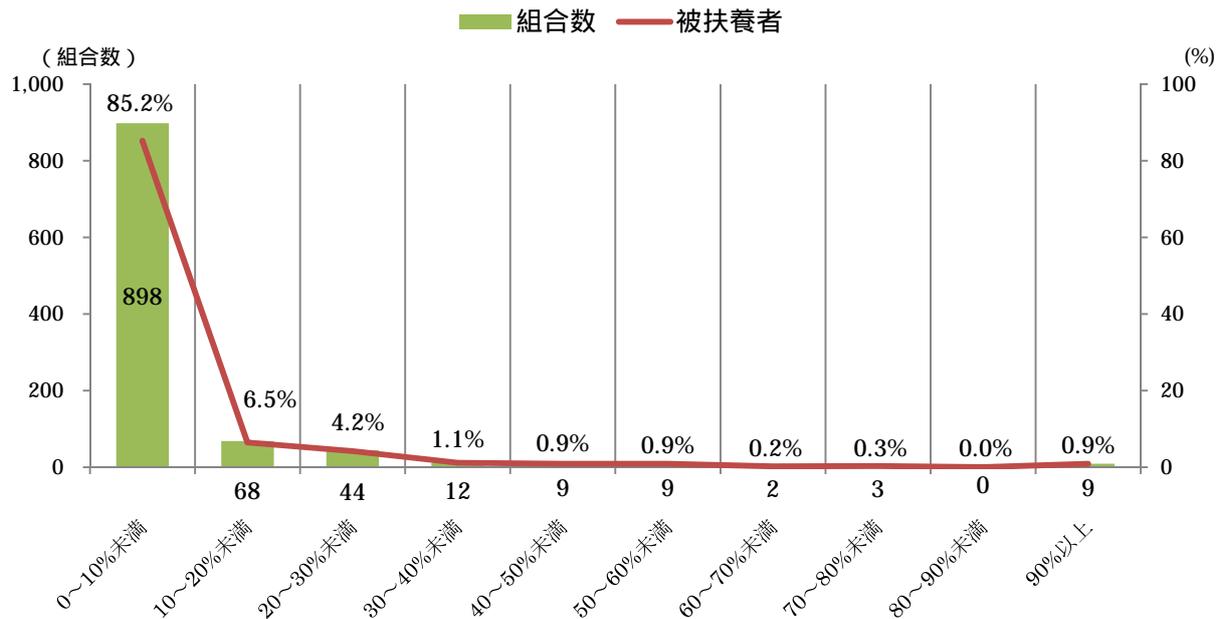
特定保健指導実施率の組合分布 ( 構成割合 )  
< 積極的支援 >



特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
 < 積極的支援：被保険者 >



特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
 < 積極的支援：被扶養者 >

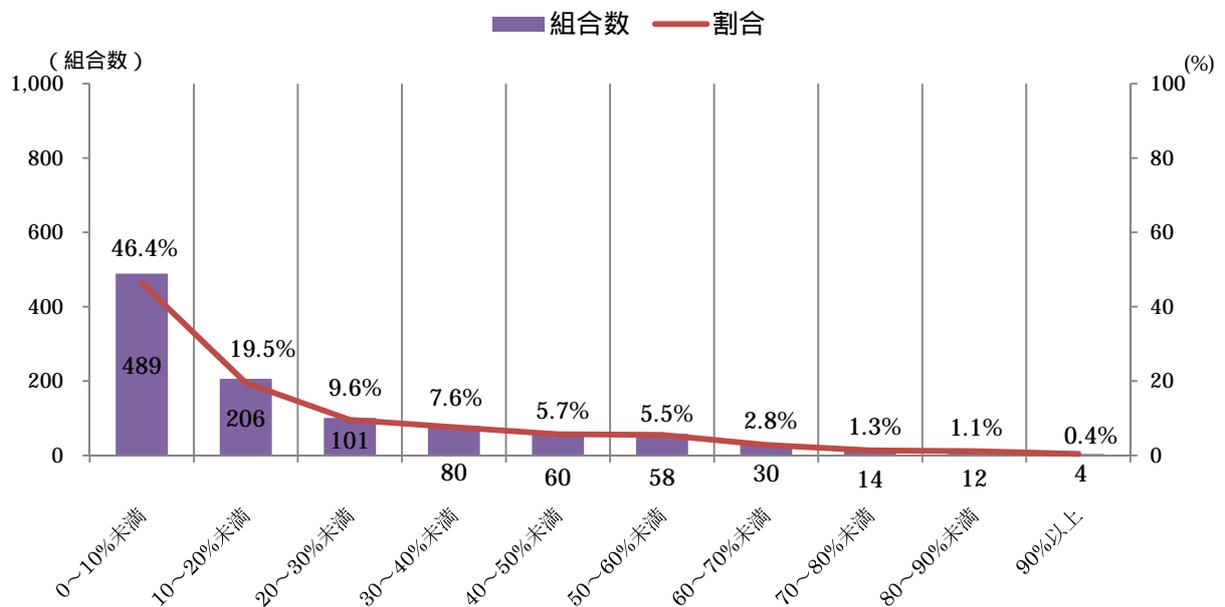


### (3) 動機づけ支援

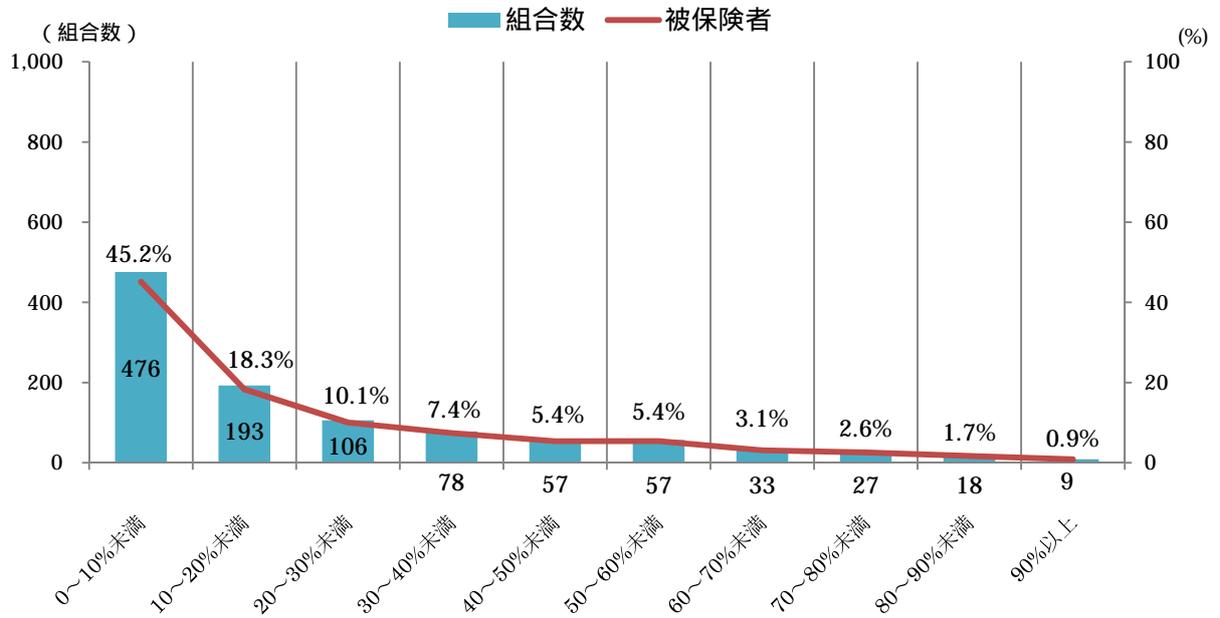
<動機づけ支援> について実施率の組合分布状況を見ると、0～10%未満:489 組合が 46.4%と最も多く、30%未満:796 組合で全体の約 8 割を占めている。

被保険者・被扶養者別に<動機づけ支援> についてみると(p.17)、被保険者では 40% 未満:853 組合で全体の約 8 割、被扶養者では 10%未満:819 組合で全体の約 8 割を占めている。

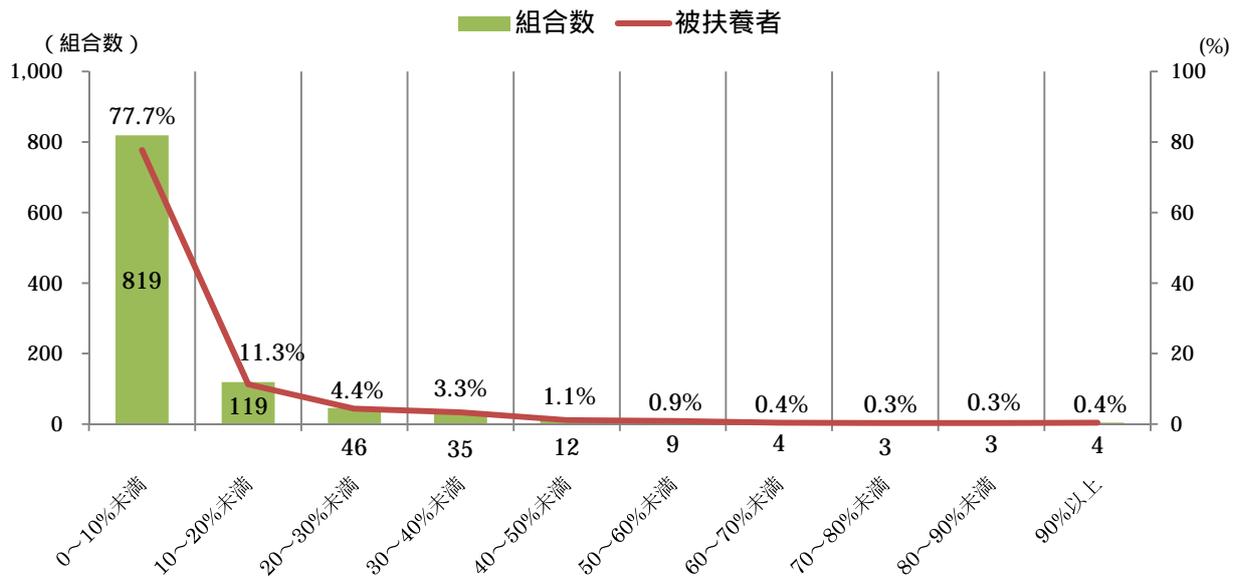
特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
<動機づけ支援>



特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
 < 動機づけ支援：被保険者 >



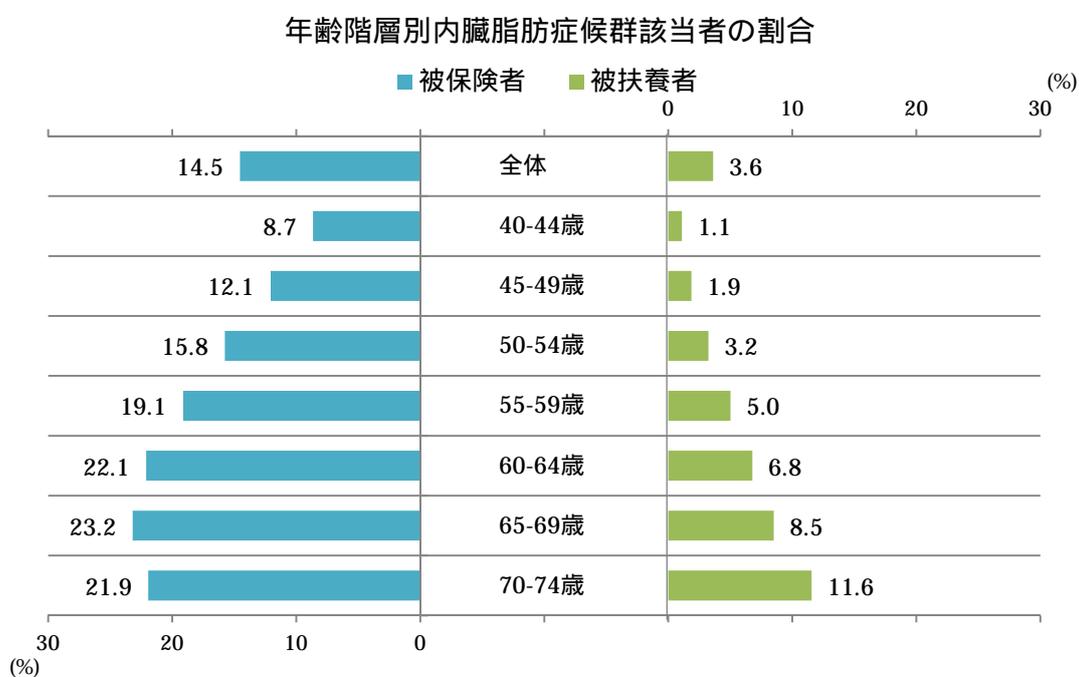
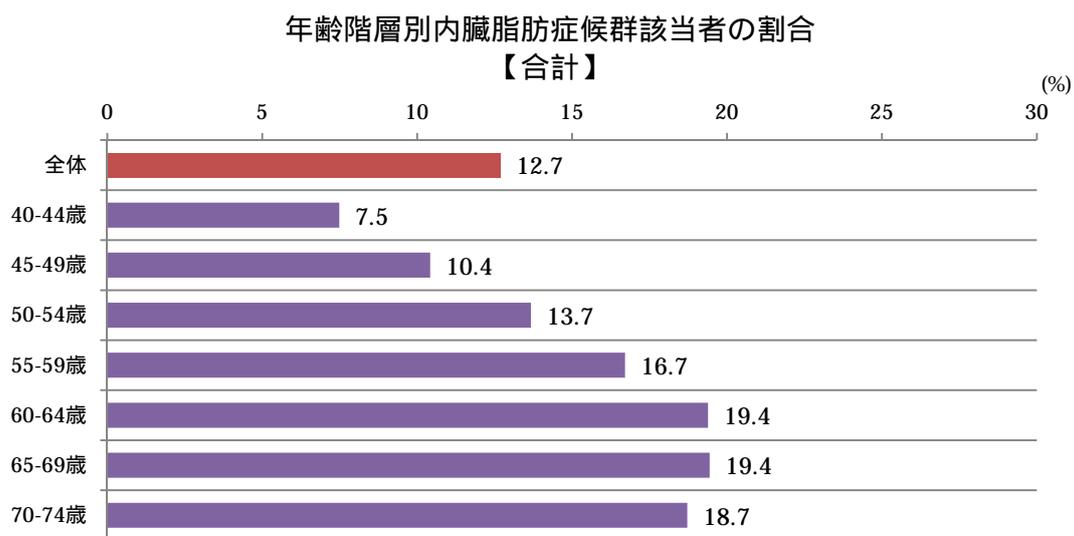
特定保健指導実施率の組合分布（構成割合）  
 < 動機づけ支援：被扶養者 >



## 8. 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群該当者の割合

年齢階層別に内臓脂肪症候群該当者<sup>7</sup>の割合<sup>8</sup>をみると、全体：12.7%に対して、最も高いのは 60-64 歳及び 65-69 歳：19.4%、70-74 歳：18.7%、55-59 歳：16.7%となっている。

被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では全体：14.5%に対して、65-69 歳：23.2%が最も高く、被扶養者では全体：3.6%に対して、70-74 歳：11.6%が最も高い。



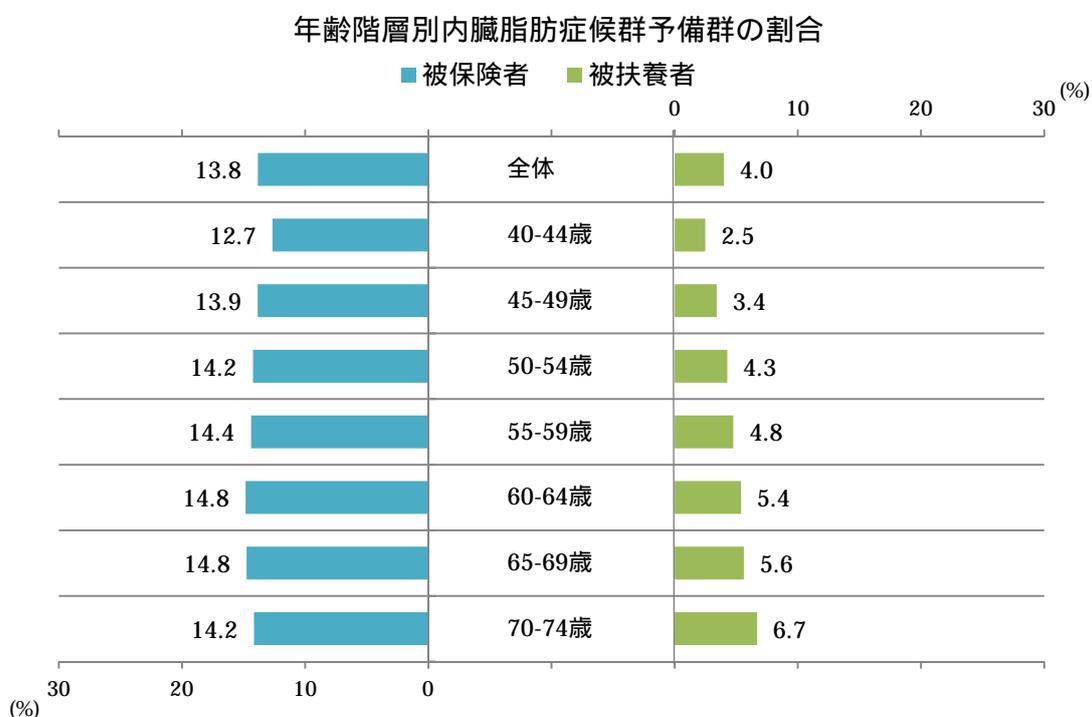
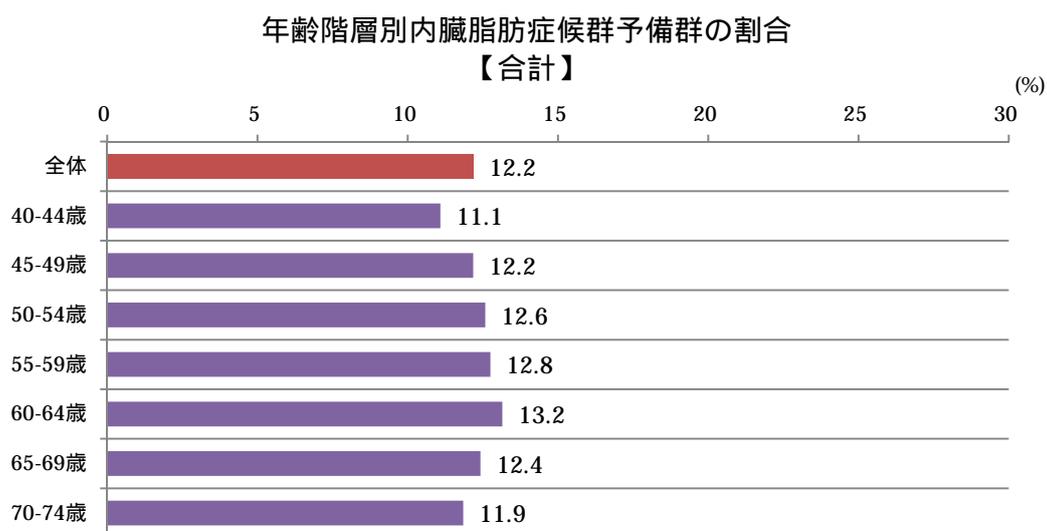
<sup>7</sup> 内臓脂肪の蓄積（腹囲測定等）に加え、血中脂質、血圧、血糖の基準のうち、2つ以上に該当する者。

<sup>8</sup> 内臓脂肪症候群該当者数 ÷ 評価対象者数。

## 9. 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群予備群の割合

年齢階層別に内臓脂肪症候群予備群<sup>9</sup>の割合<sup>10</sup>をみると、全体：12.2%に対して、最も高いのは 60-64 歳：13.2%で、次いで、 55-59 歳：12.8%、 50-54 歳：12.6%となっている。

被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では全体：13.8%に対して、60-64 歳及び 65-69 歳：14.8%が最も高く、被扶養者では全体：4.0%に対して、70-74 歳：6.7%が最も高い。



<sup>9</sup> 内臓脂肪の蓄積（腹囲測定等）に加え、血中脂質、血圧、血糖の基準の1つに該当する者。

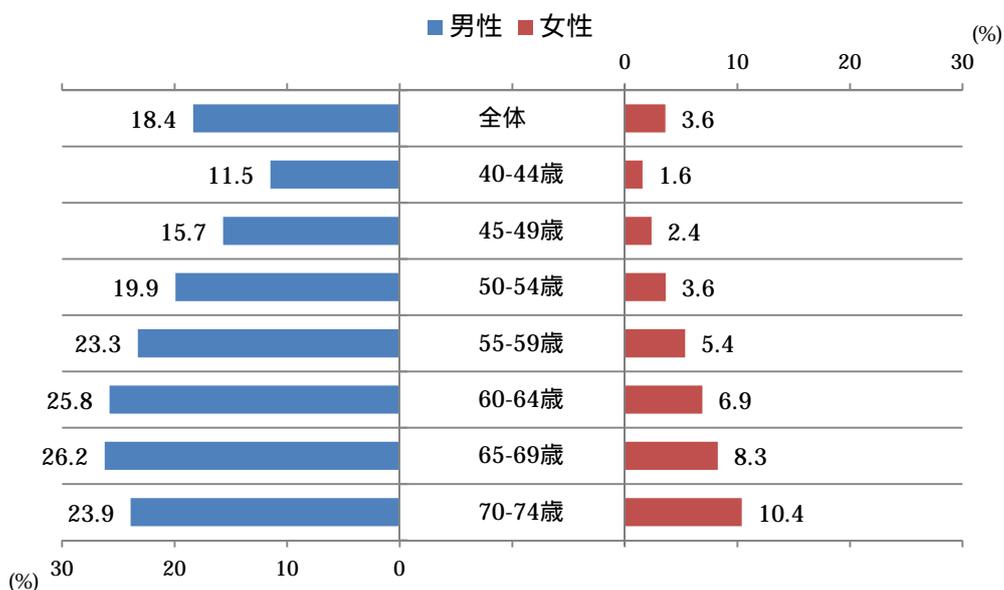
<sup>10</sup> 内臓脂肪症候群予備群者数 ÷ 評価対象者数。

[ 参考 ] 男女別にみた内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合

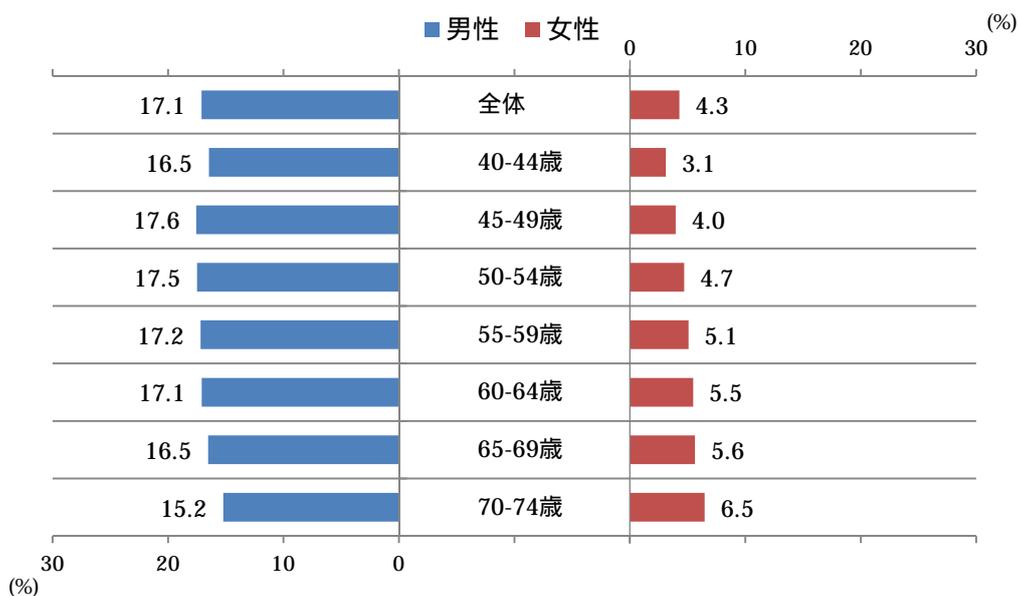
男女別に内臓脂肪症候群該当者の割合をみると、男性：18.4%、女性：3.6%と男性が圧倒的に高く、年齢階層別にみると、概ね年齢階層が上がるにつれて高くなっていることがわかる。

男女別に内臓脂肪症候群予備群の割合をみると、男性：17.1 %、女性：4.3%と男性が圧倒的に高く、年齢階層別にみると、男性では年齢間の差異は大きくなく 15%～17%台を占めている。一方、女性では年齢階層が上がるにつれて高くなっている。

男女別内臓脂肪症候群該当者の割合



男女別内臓脂肪症候群予備群の割合

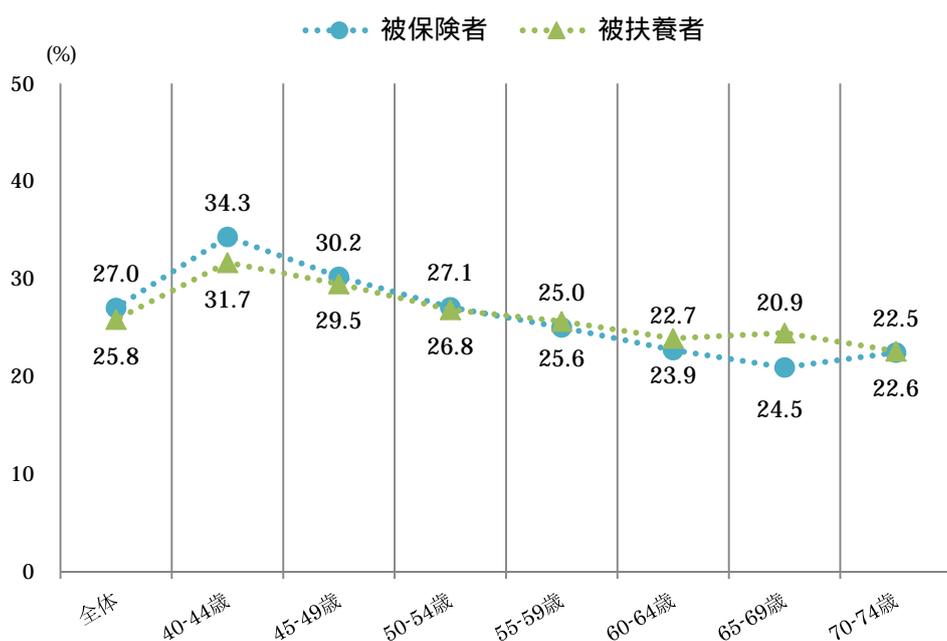


## 10. 内臓脂肪症候群該当者・予備群の減少率（対前年度比）

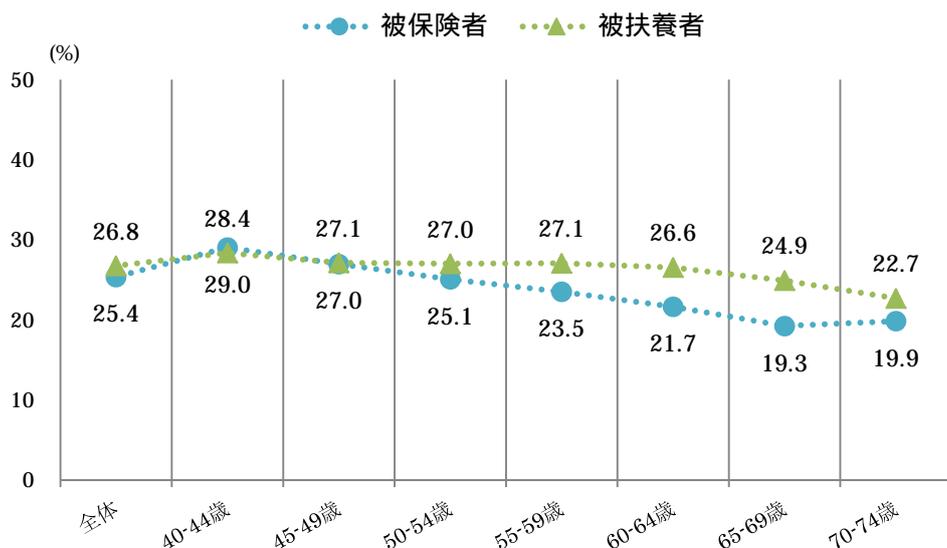
内臓脂肪症候群該当者の減少率（対前年度比）<sup>11</sup>をみると、全体では被保険者：27.0%、被扶養者：25.8%となっており、年齢階層別にみると、被保険者・被扶養者ともに40歳台で減少率が高いことを示している。

内臓脂肪症候群予備群の減少率（対前年度比）をみると、全体では被保険者：25.4%、被扶養者：26.8%となっている。

内臓脂肪症候群該当者の減少率



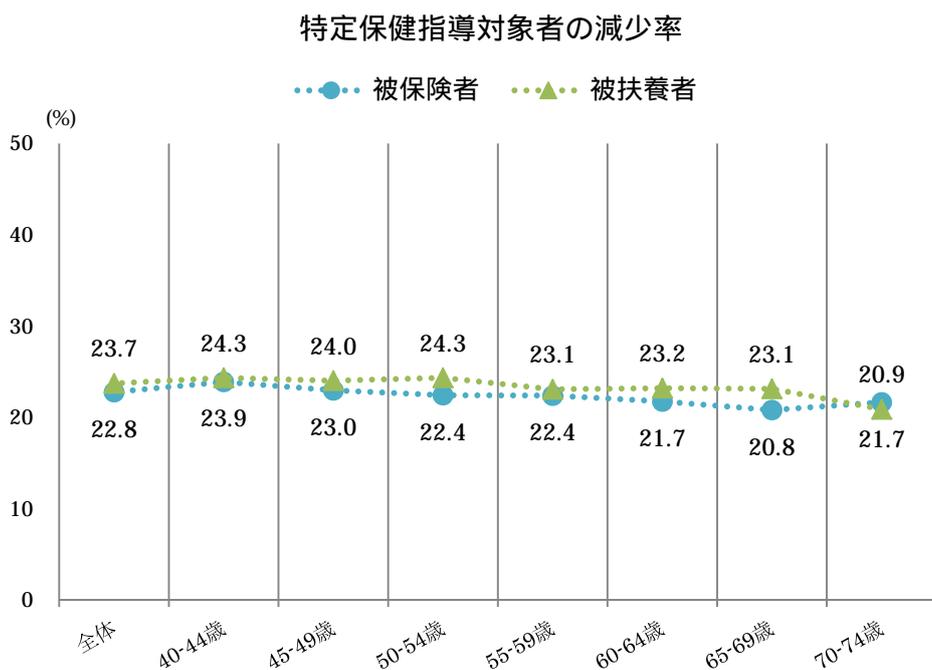
内臓脂肪症候群予備群の減少率



<sup>11</sup> ( 昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数のうち、今年度の内臓脂肪症候群予備群の数 + 今年度の内臓脂肪症候群該当者・予備群でなくなった者の数 ) ÷ 昨年度の内臓脂肪症候群該当者の数。

### 1 1 . 特定保健指導対象者の減少率（対前年度比）

特定保健指導対象者の減少率(対前年度比)<sup>12</sup>をみると、全体では被保険者:22.8%、被扶養者:23.7%となっており、被保険者・被扶養者ともに、どの年齢階層においても20%台となっている。



<sup>12</sup> 昨年度の特定保健指導の対象者数のうち、今年度は特定保健指導の対象ではなくなった者の数 ÷ 昨年度の特定保健指導の対象者数。

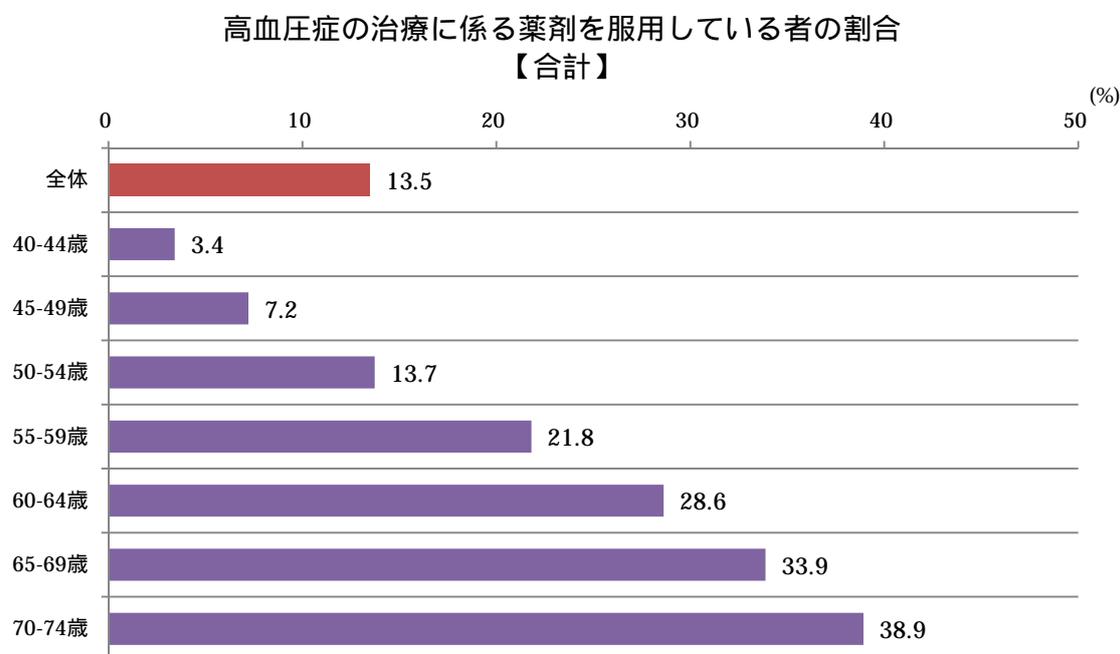
## 1 2 . 服薬（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）の状況

### （ 1 ）高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合

年齢階層別に高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合<sup>13</sup>をみると、全体では13.5%で、最も高いのは70-74歳：38.9%となっており、年齢階層が上がるにつれて高くなっている。

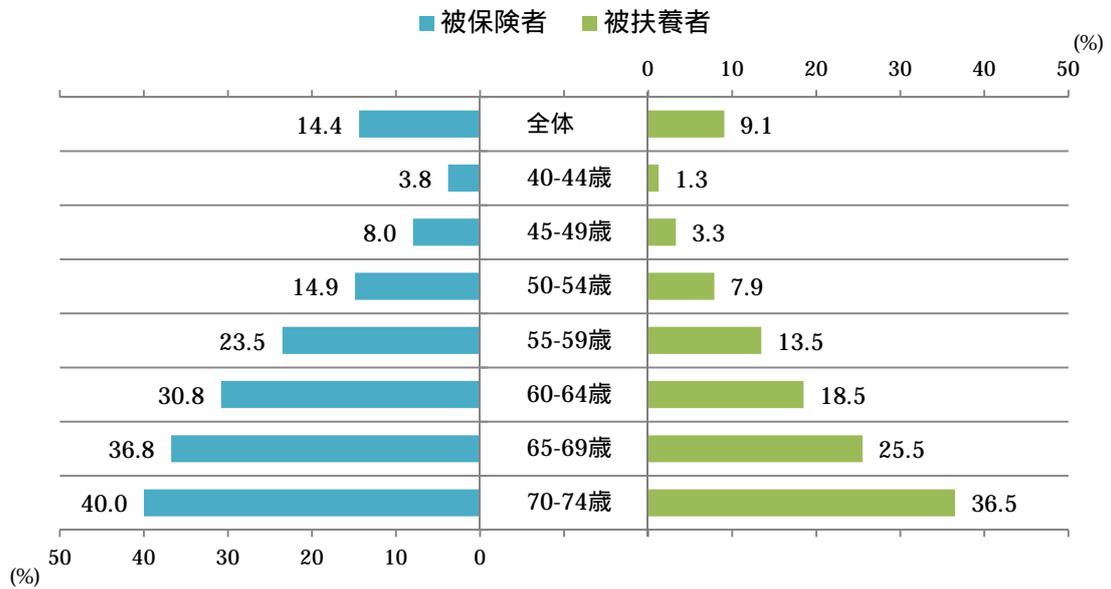
被保険者・被扶養者別にみると(p.24)、全体では被保険者:14.4%、被扶養者:9.1%となっており、どの年齢階層においても被保険者のほうが高い割合を示している。

男女別にみると(p.24)、全体では男性: 16.6%、女性 8.5%となっており、どの年齢階層においても男性のほうが高い割合を示している。

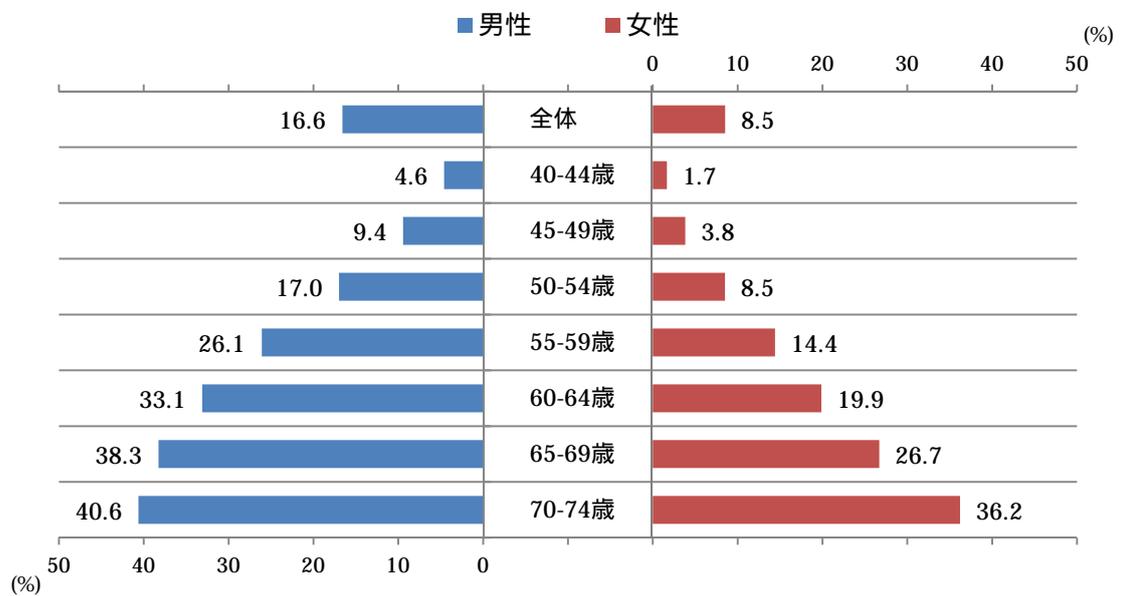


<sup>13</sup> 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数÷評価対象者数。なお、これらの割合は、高血圧症及び脂質異常症、糖尿病の治療に係る薬剤を重複して服用している者を含めた割合である（以下、同様）。

### 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合



### 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合

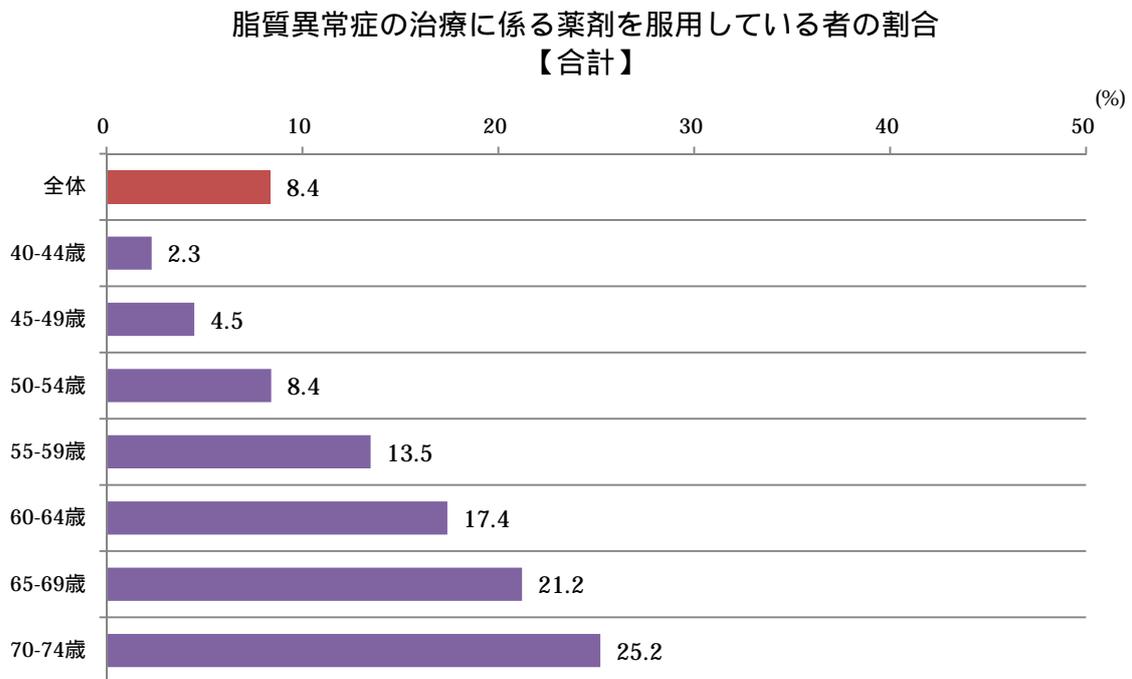


(2) 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合

年齢階層別に脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者<sup>14</sup>の割合をみると、全体では8.4%で、最も高いのは70-74歳:25.2%となっており、年齢階層が上がるにつれて高くなっている。

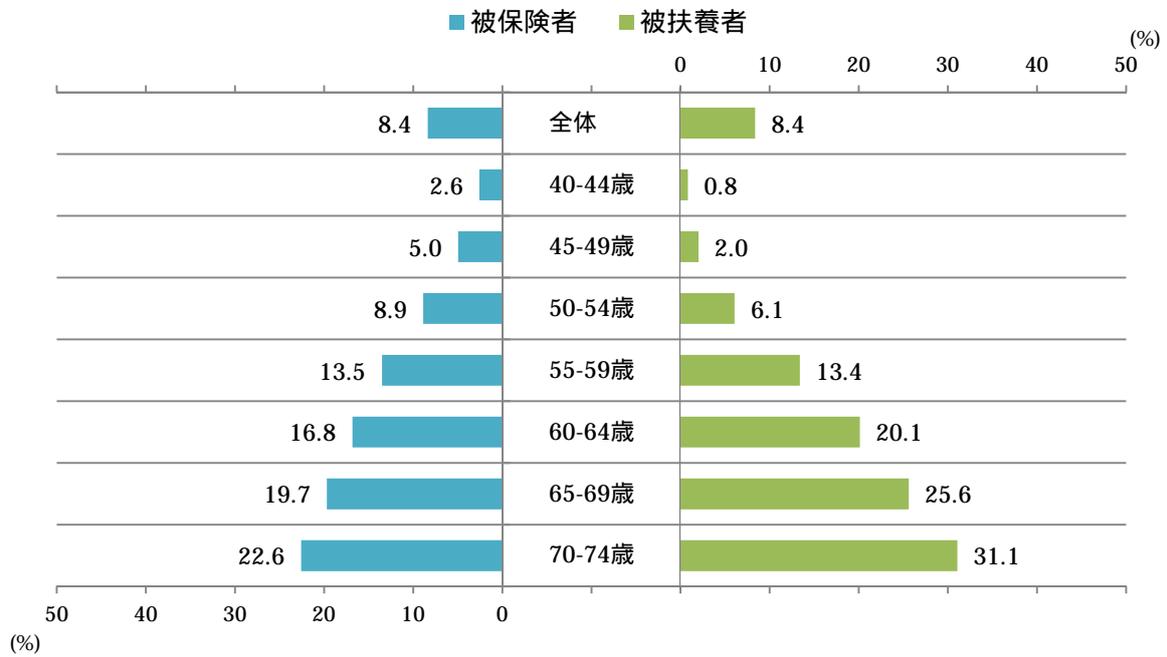
被保険者・被扶養者別にみると(p.26)、全体では被保険者、被扶養者ともに8.4%で、年齢階層別にみると、とくに60歳台以降で被扶養者のほうが比較的高い割合を示している。

男女別にみると(p.26)、全体では男性:9.3%、女性6.9%と男性のほうがやや高いものの、年齢階層別にみると、60歳台以降は女性のほうが高くなっている。

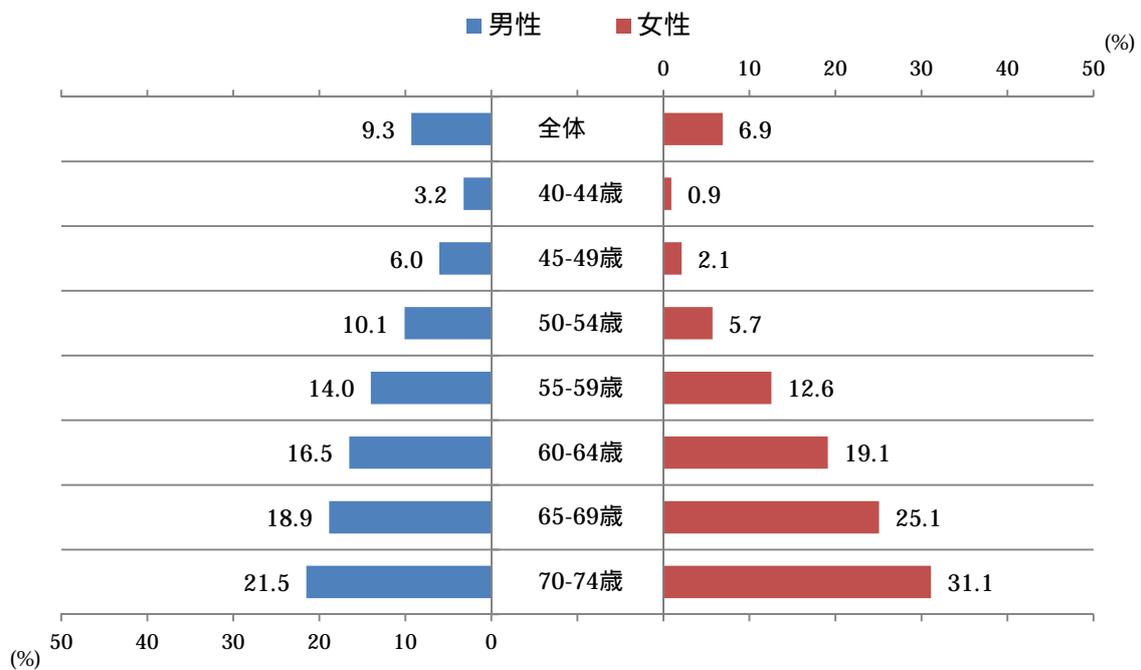


<sup>14</sup> 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用しているものの数 ÷ 評価対象者数。

### 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合



### 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合

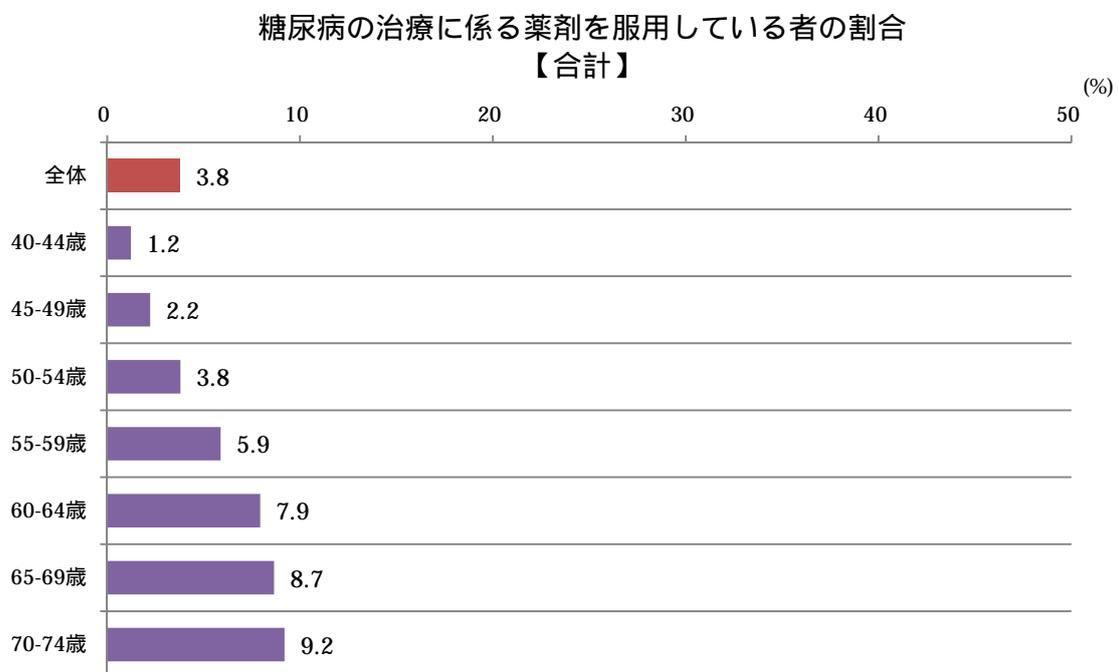


### (3) 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合

年齢階層別に糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合<sup>15</sup>をみると、全体では3.8%で、最も高いのは70-74歳:9.2%となっており、年齢階層が上がるにつれて高くなっている。

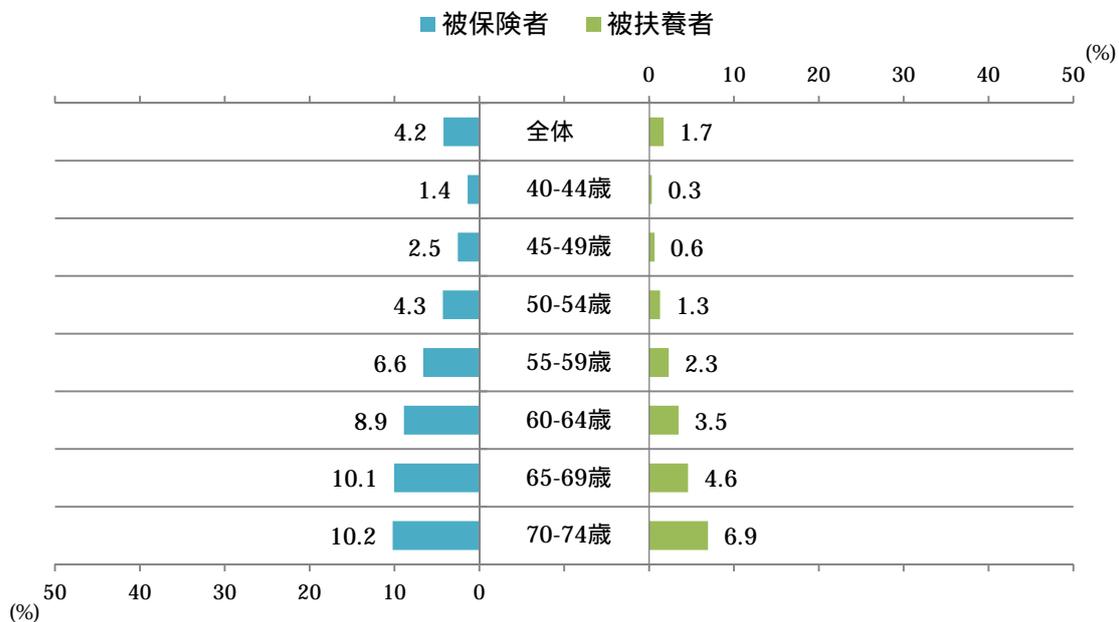
被保険者・被扶養者別にみると(p.28)、全体では被保険者:4.2%、被扶養者:1.7%となっており、どの年齢階層においても被保険者のほうが高い割合を示している。

男女別にみると(p.28)、全体では男性:5.1%、女性:1.7%となっており、どの年齢階層においても男性のほうが高くなっている。

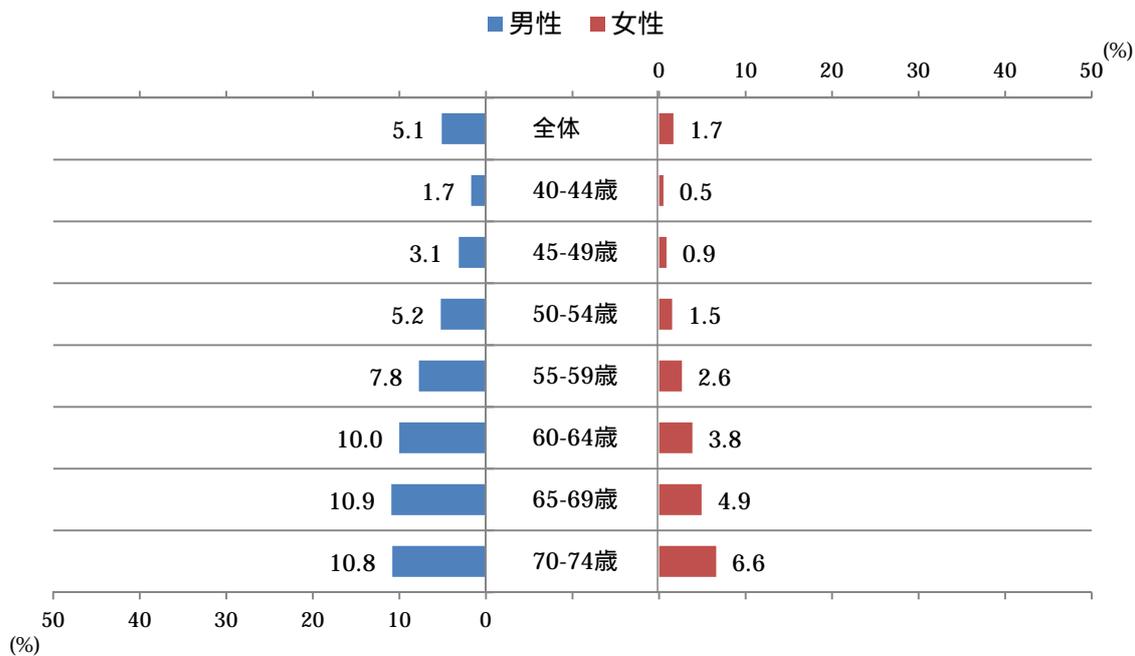


<sup>15</sup> 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している物の数 ÷ 評価対象者数。

### 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合



### 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合



組合形態（単一・総合）別にみた特定健康診査・特定保健指導の実施状況

1．特定健康診査の実施状況

（1）特定健康診査実施率 .....	30
（2）年齢階層別特定健康診査実施率 .....	31
（3）特定健康診査実施率別の組合分布状況（構成割合） .....	32

2．特定保健指導の実施状況

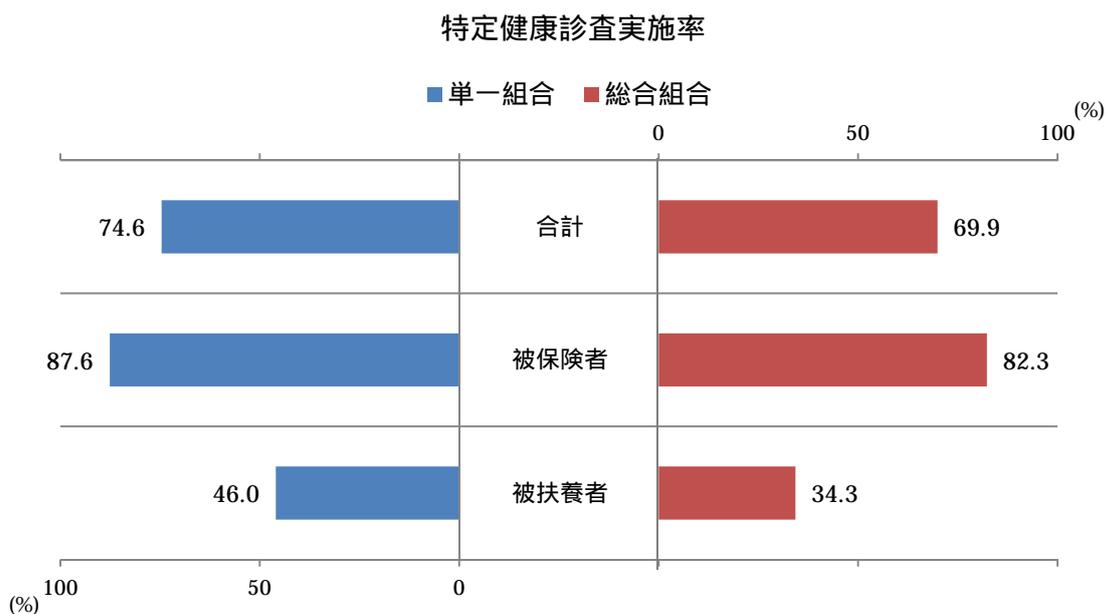
（1）特定保健指導実施率 .....	35
（2）年齢階層別特定保健指導実施率 .....	36
（3）特定保健指導実施率別の組合分布状況（構成割合） .....	37

## 1. 特定健康診査の実施状況

### (1) 特定健康診査実施率

組合形態別に特定健康診査実施率をみると、合計では単一：74.6%、総合：69.9%となっている。

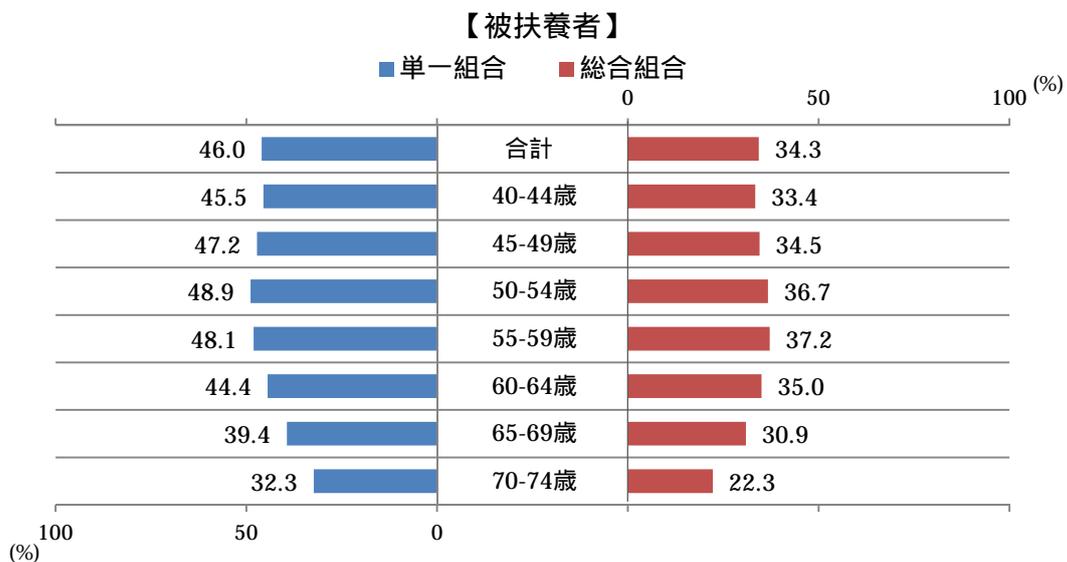
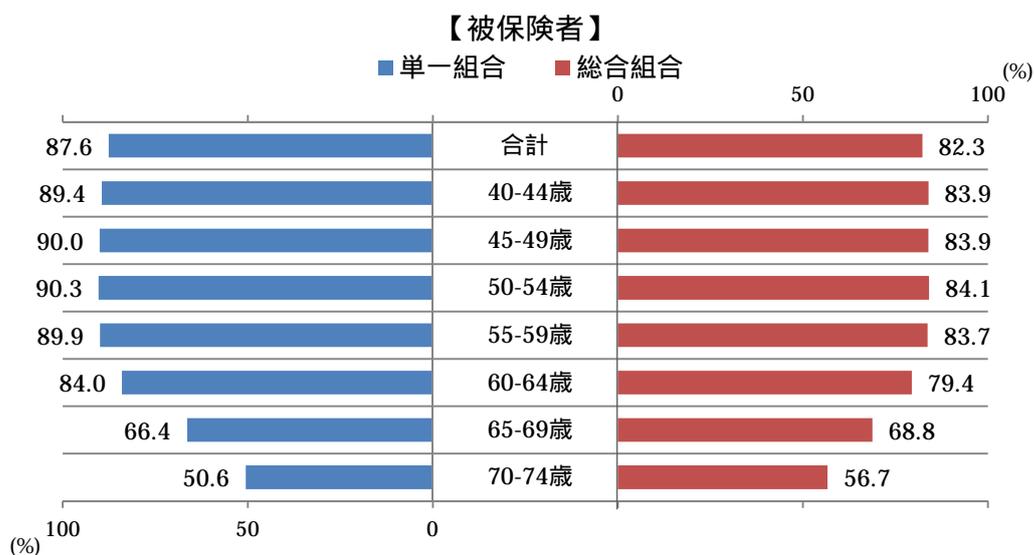
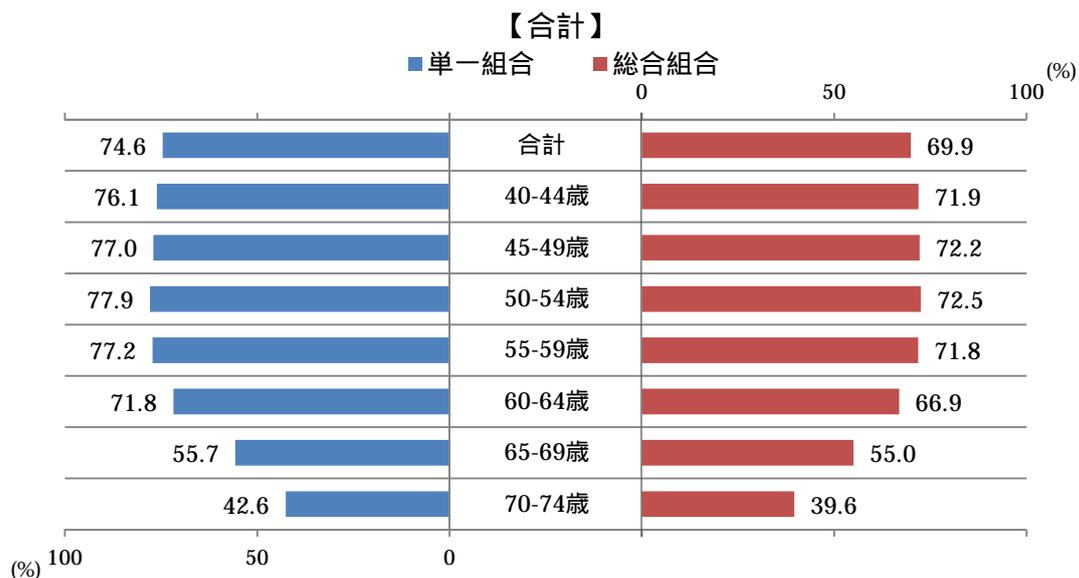
被保険者・被扶養者別では、被保険者では単一：87.6%、総合：82.3%、被扶養者では単一：46.0%、総合：34.3%となっている。



区分	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診実施率
単一組合(850組合)	5,800,813人	4,329,932人	74.6%
総合組合(204組合)	3,542,841人	2,475,010人	69.9%

区分	形態	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診実施率
被保険者	単一	3,995,930人	3,498,977人	87.6%
	総合	2,623,798人	2,160,095人	82.3%
被扶養者	単一	1,804,883人	830,955人	46.0%
	総合	919,043人	314,915人	34.3%

(2) 年齢階層別特定健康診査実施率



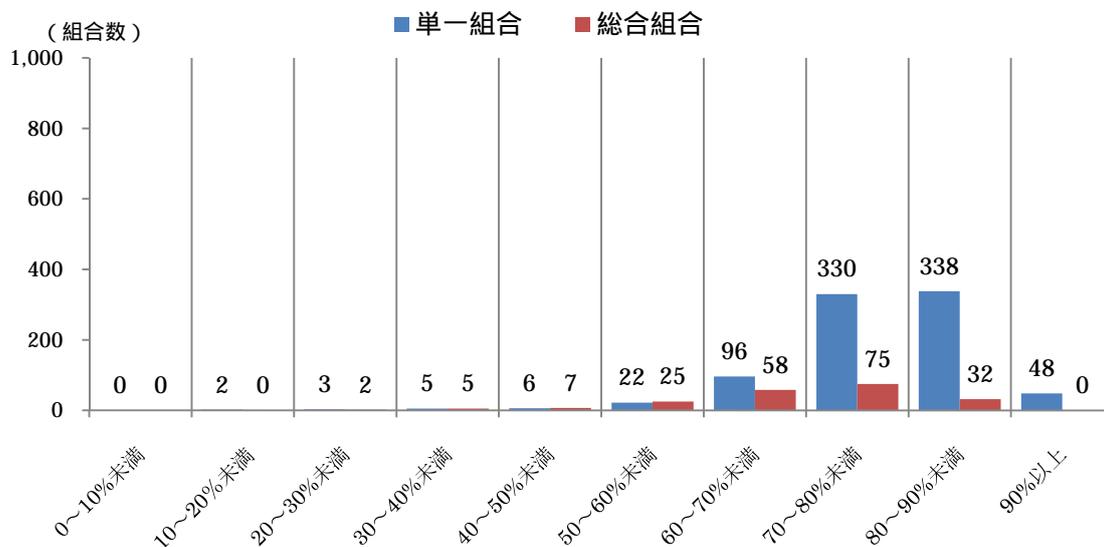
(3) 特定健康診査実施率別の組合分布状況（構成割合）

組合形態別に特定健康診査実施率の組合分布状況をみると、単一組合では 80～90%未満：338 組合（39.8%）が最も多く、次いで 70～80%未満：330 組合（38.8%）、60～70%：96 組合（11.3%）となっている。

一方、総合組合では、同様に 70～80%未満：75 組合（36.8%）が最も多く、次いで 60～70%未満：58 組合（28.4%）、80～90%未満：32 組合（15.7%）となっている。

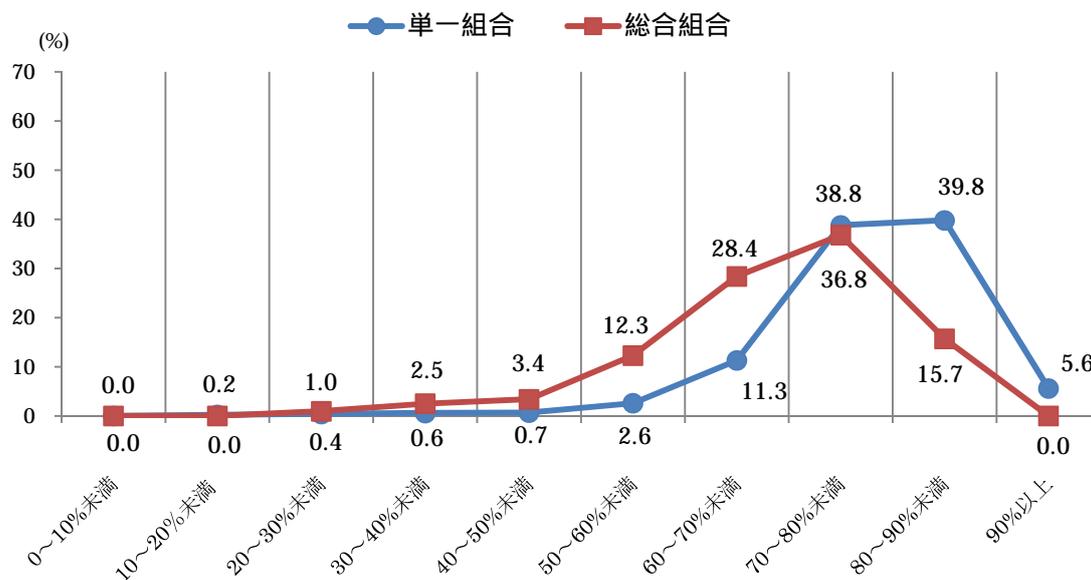
特定健康診査実施率別組合数

【合計】

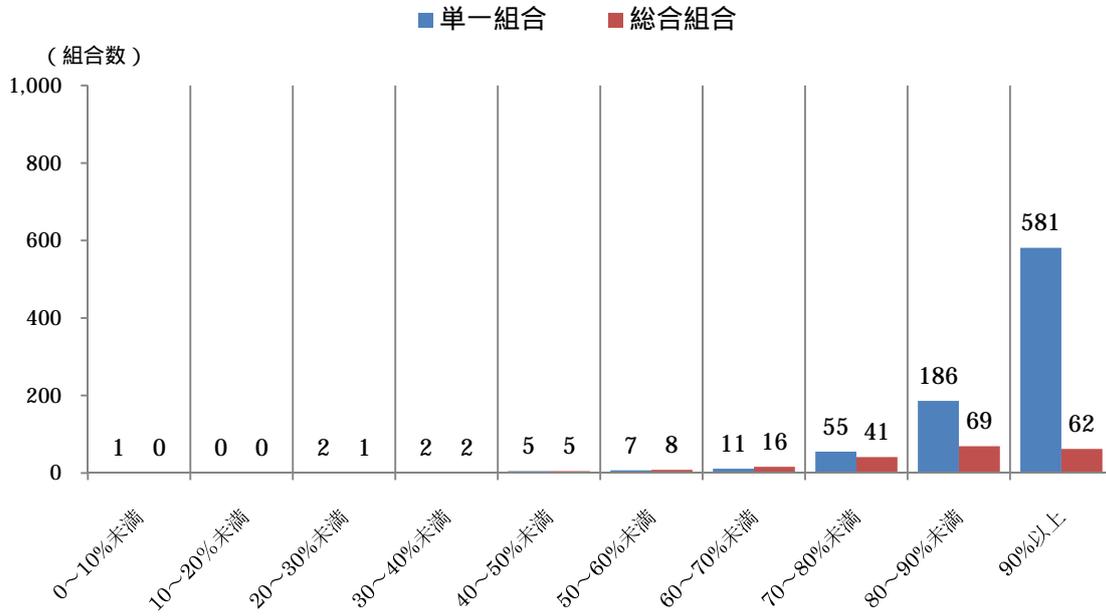


特定健康診査実施率別構成割合

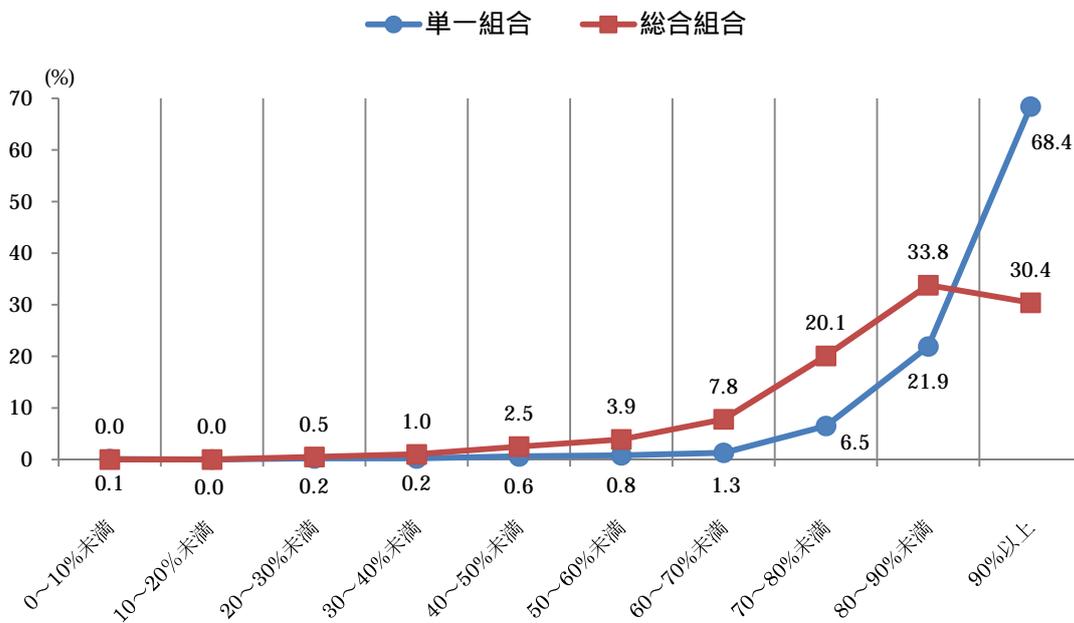
【合計】



特定健康診査実施率別組合数  
【被保険者】



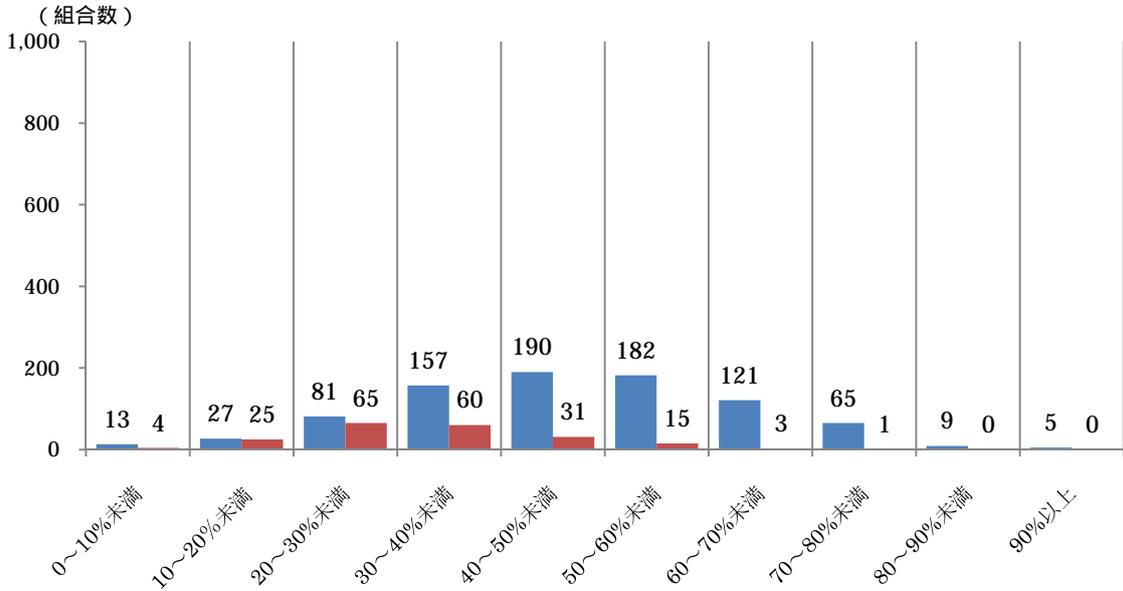
特定健康診査実施率別構成割合  
【被保険者】



特定健康診査実施率別組合数

【被扶養者】

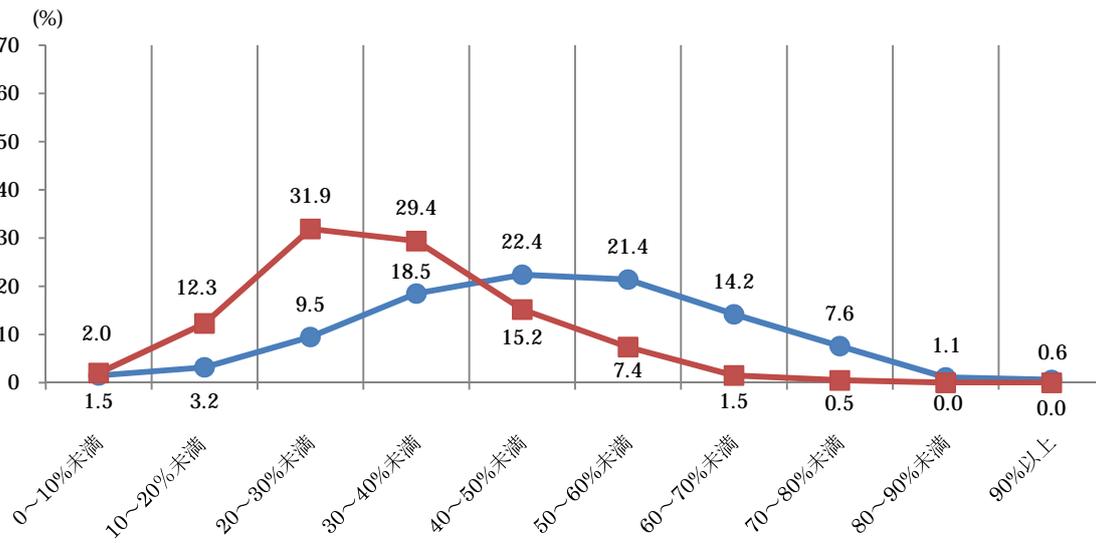
■ 単一組合 ■ 総合組合



特定健康診査実施率別構成割合

【被扶養者】

● 単一組合 ■ 総合組合

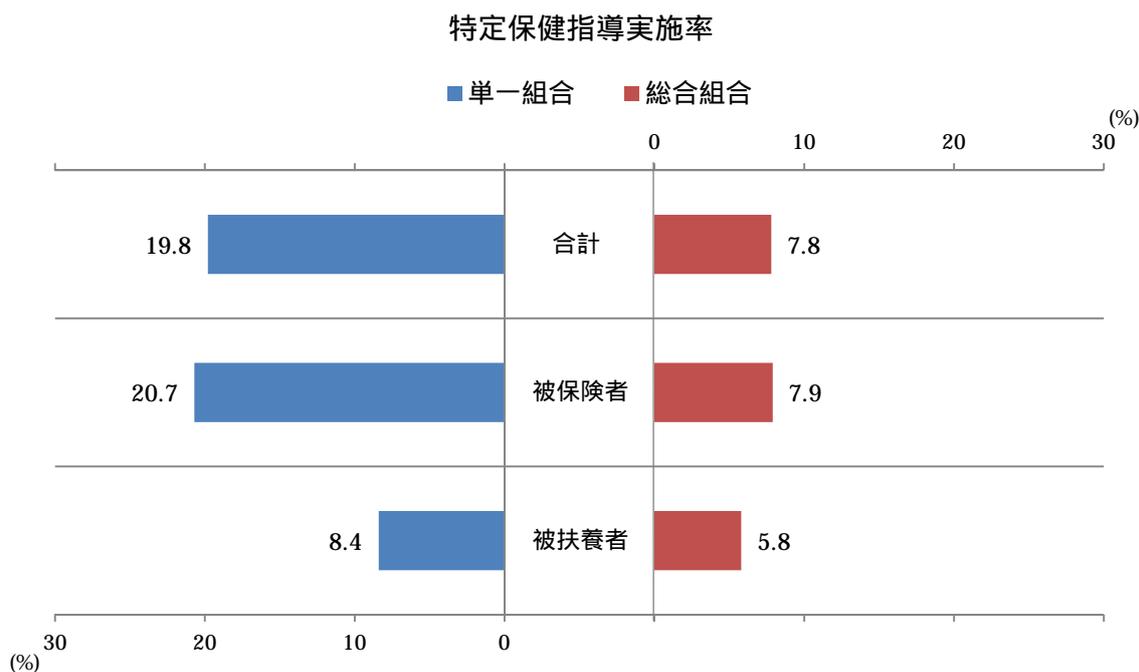


## 2. 特定保健指導の実施状況

### (1) 特定保健指導実施率

組合形態別に特定保健指導実施率をみると、合計では単一：19.8%、総合：7.8%となっている。

被保険者・被扶養者別では、被保険者では単一：20.7%、総合：7.9%、被扶養者では単一：8.4%、総合：5.8%となっている。

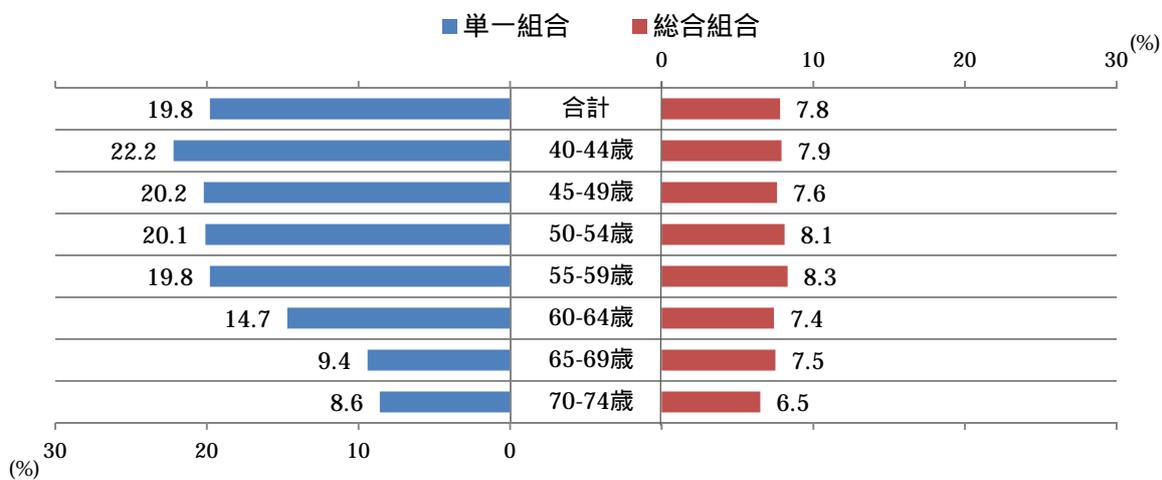


区分	特定保健指導対象者数	特定保健指導終了者数	特定保健指導実施率
単一組合 (850 組合)	791,127 人	156,242 人	19.8%
総合組合 (204 組合)	486,673 人	38,117 人	7.8%

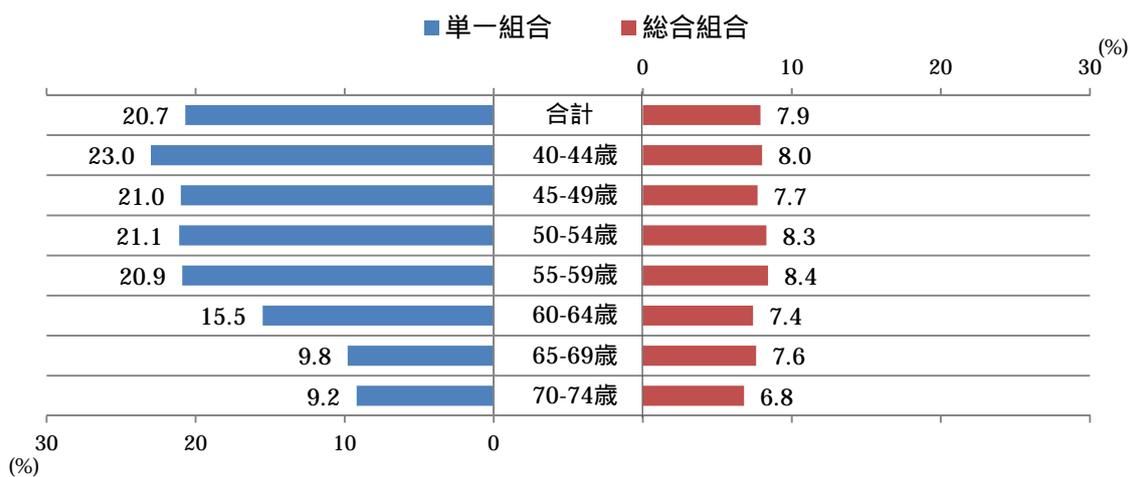
区分	形態	特定保健指導対象者数	特定保健指導終了者数	特定保健指導実施率
被保険者	単一	732,309 人	151,307 人	20.7%
	総合	462,829 人	36,738 人	7.9%
被扶養者	単一	58,818 人	4,935 人	8.4%
	総合	23,844 人	1,379 人	5.8%

(2) 年齢階層別特定保健指導実施率

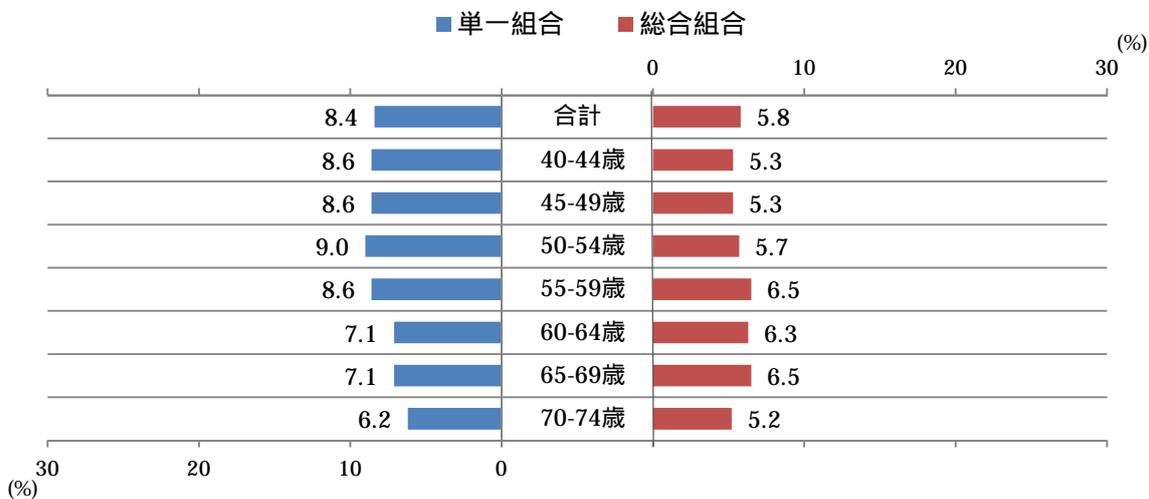
【合計】



【被保険者】



【被扶養者】



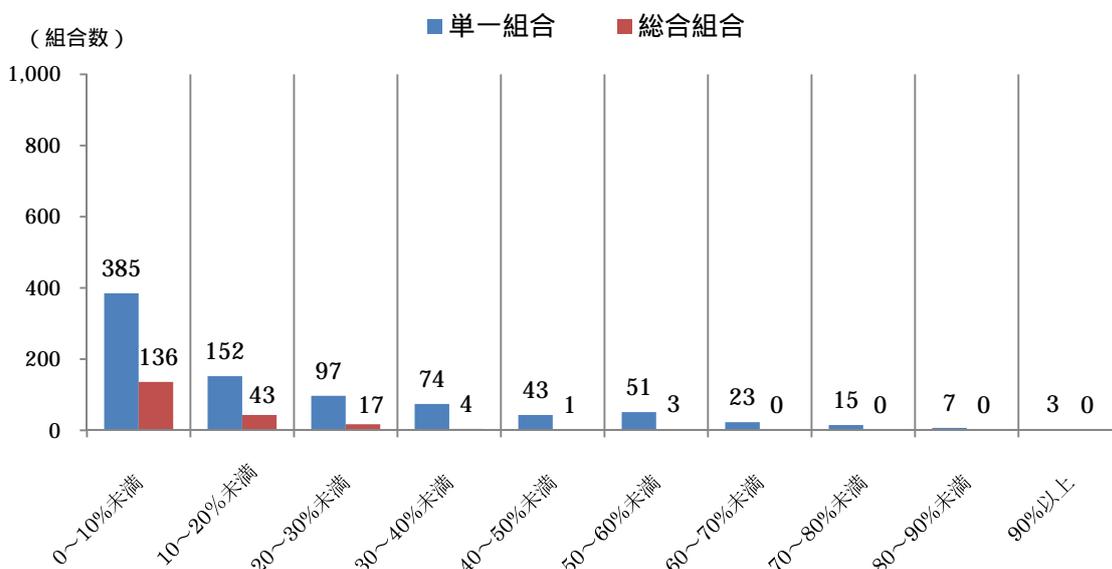
(3) 特定保健指導実施率別の組合分布状況（構成割合）

組合形態別に特定保健指導実施率の組合分布をみると、単一組合では10%未満:385組合(45.3%)が最も多く、次いで10~20%未満:152組合(17.9%)、20~30%未満:97組合(11.4%)となっている。

総合組合では、同様に10%未満:136組合(66.7%)が最も多く、次いで10~20%未満:43組合(21.1%)、20~30%未満:17組合(8.3%)となっている。

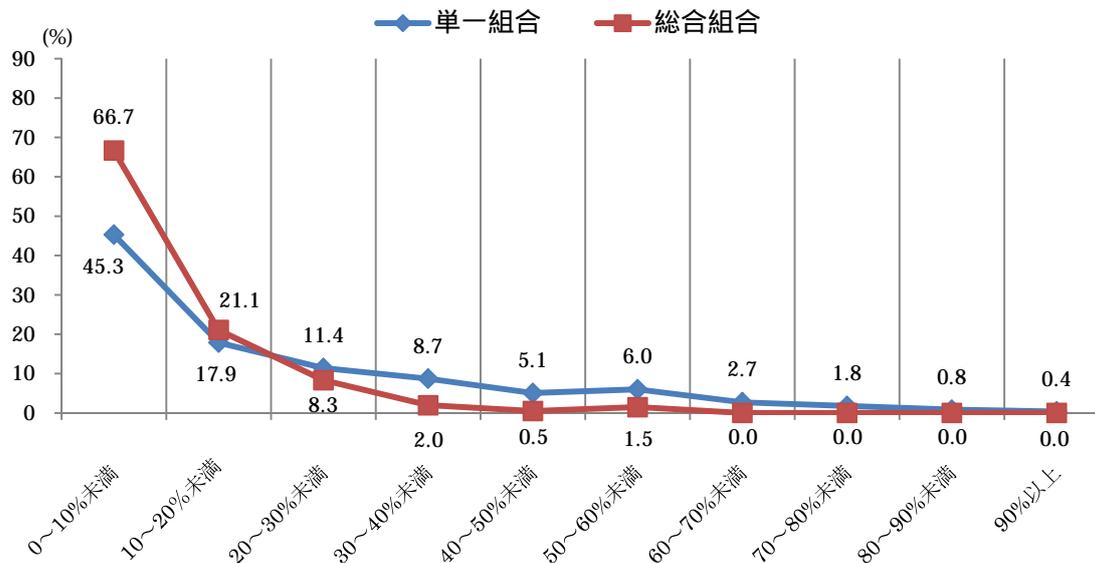
特定保健指導実施率別組合数

【合計】



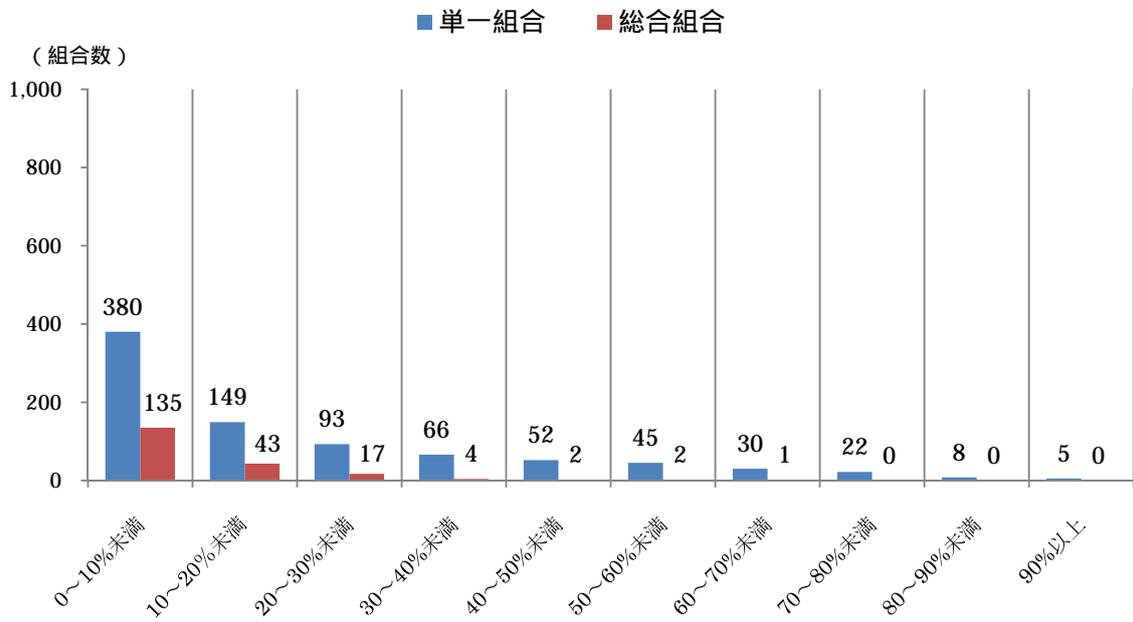
特定保健指導実施率別構成割合

【合計】



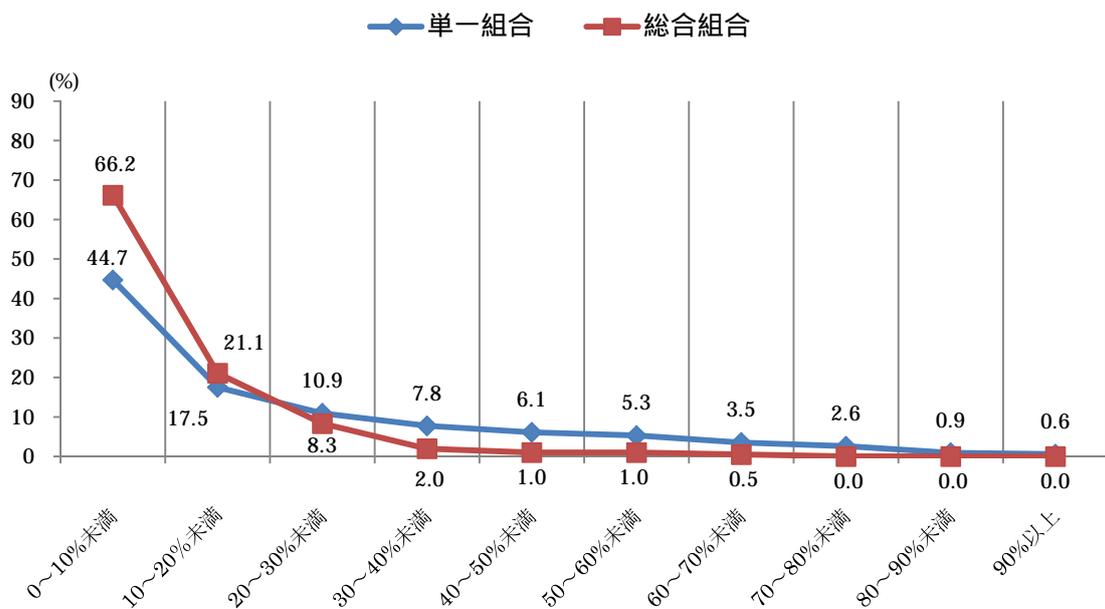
### 特定保健指導実施率別組合数

【被保険者】

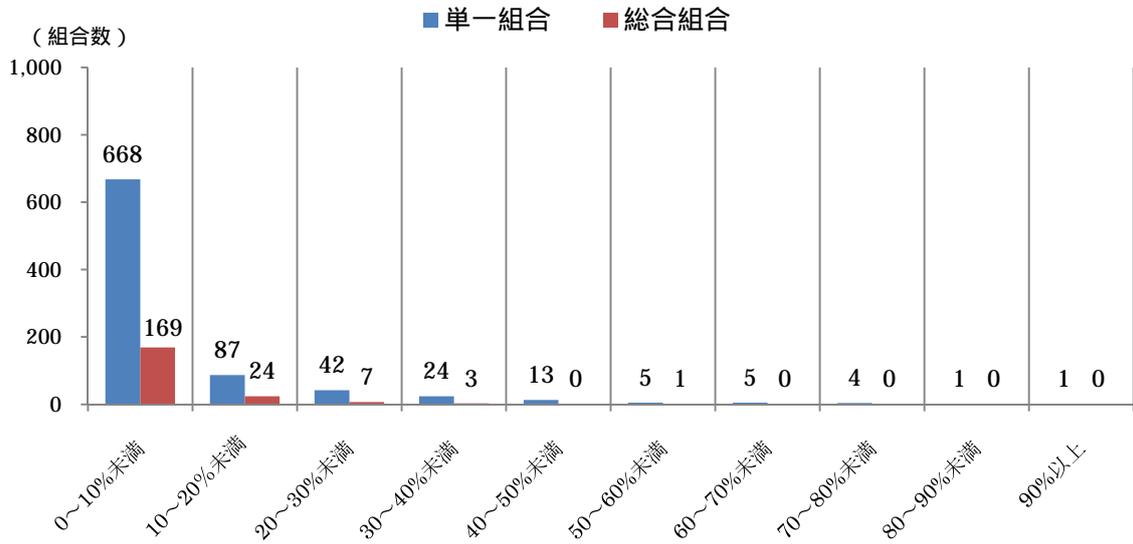


### 特定保健指導実施率別構成割合

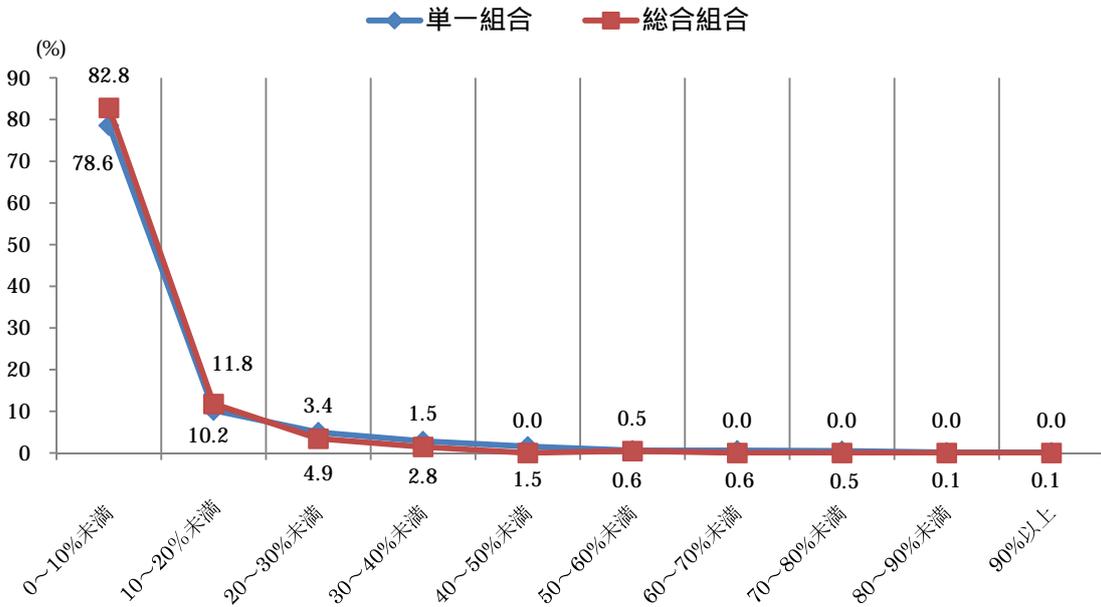
【被保険者】



特定保健指導実施率別組合数  
【被扶養者】



特定保健指導実施率別構成割合  
【被扶養者】

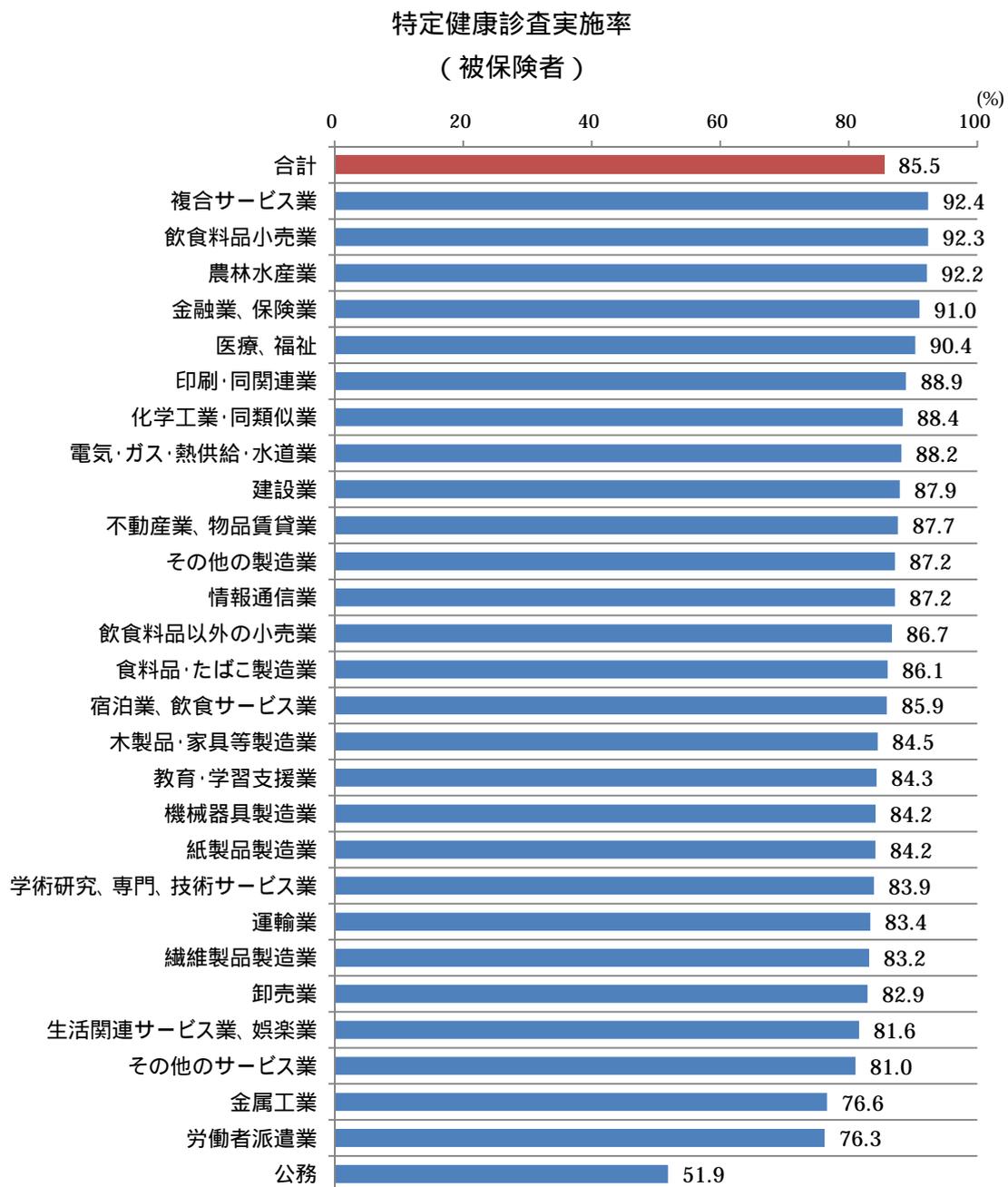


## 業態別にみた「被保険者」の特定健康診査・特定保健指導の実施状況

1 . 被保険者の特定健康診査実施率.....	41
2 . 被保険者の特定保健指導実施率.....	42
3 . 被保険者の内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合	
( 1 ) 該当者.....	43
( 2 ) 予備群.....	44
4 . 被保険者の3疾患の治療に係る薬剤を服用している者の割合	
( 1 ) 高血圧症.....	45
( 2 ) 脂質異常症.....	46
( 3 ) 糖尿病.....	47

## 1. 被保険者の特定健康診査実施率

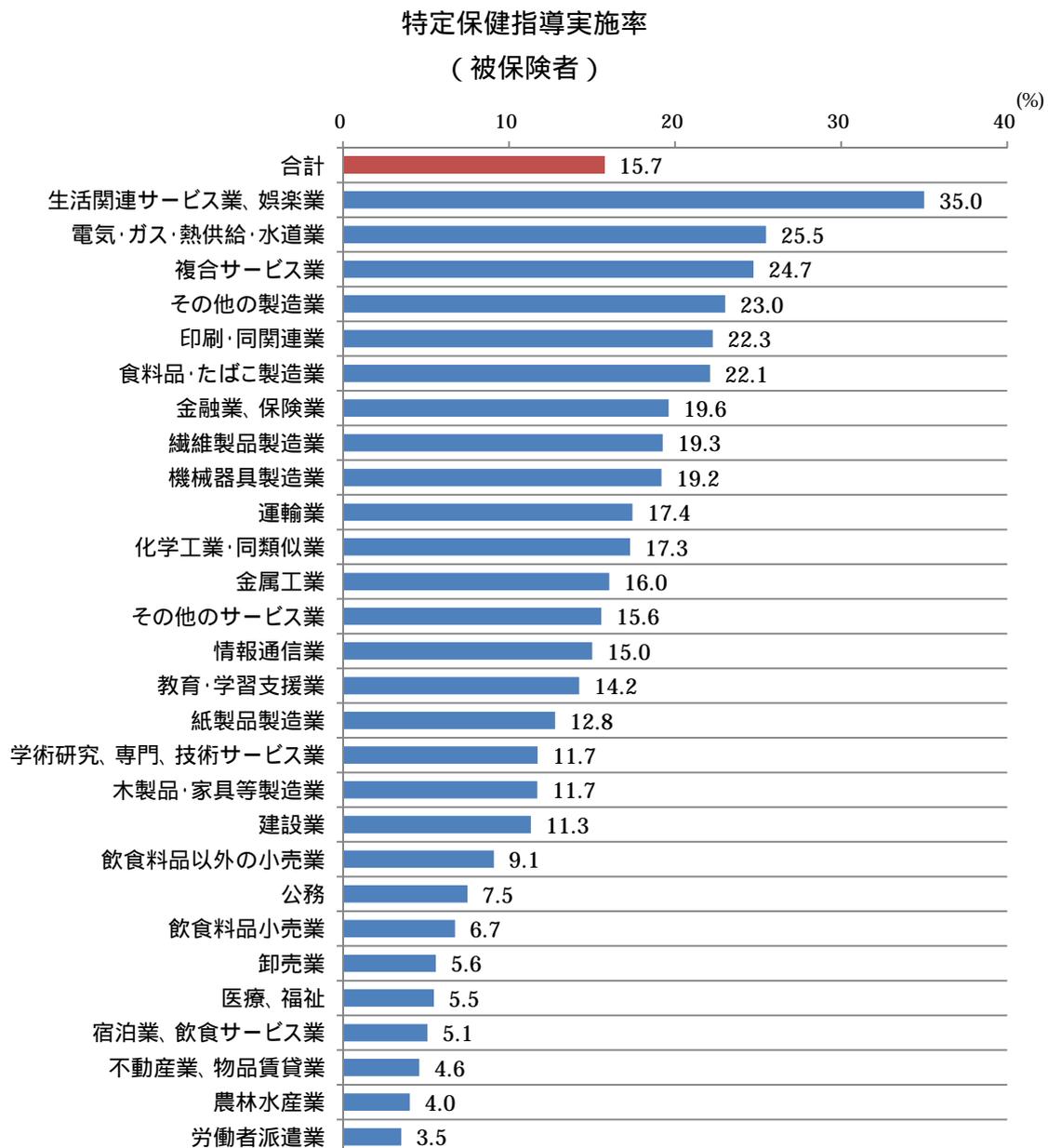
業態別に被保険者の特定健康診査実施率をみると、複合サービス業:92.4%が最も高く、次いで、飲食料品小売業:92.3%、農林水産業:92.2%となっている。逆に低いのは、公務:51.9%、労働者派遣業:76.3%、金属工業:76.6%となっている。



## 2. 被保険者の特定保健指導実施率

業態別に被保険者の特定保健指導実施率をみると、生活関連サービス業、娯楽業：35.0%が最も高く、次いで、電気・ガス・熱供給・水道業：25.5%、複合サービス業：24.7%となっている。

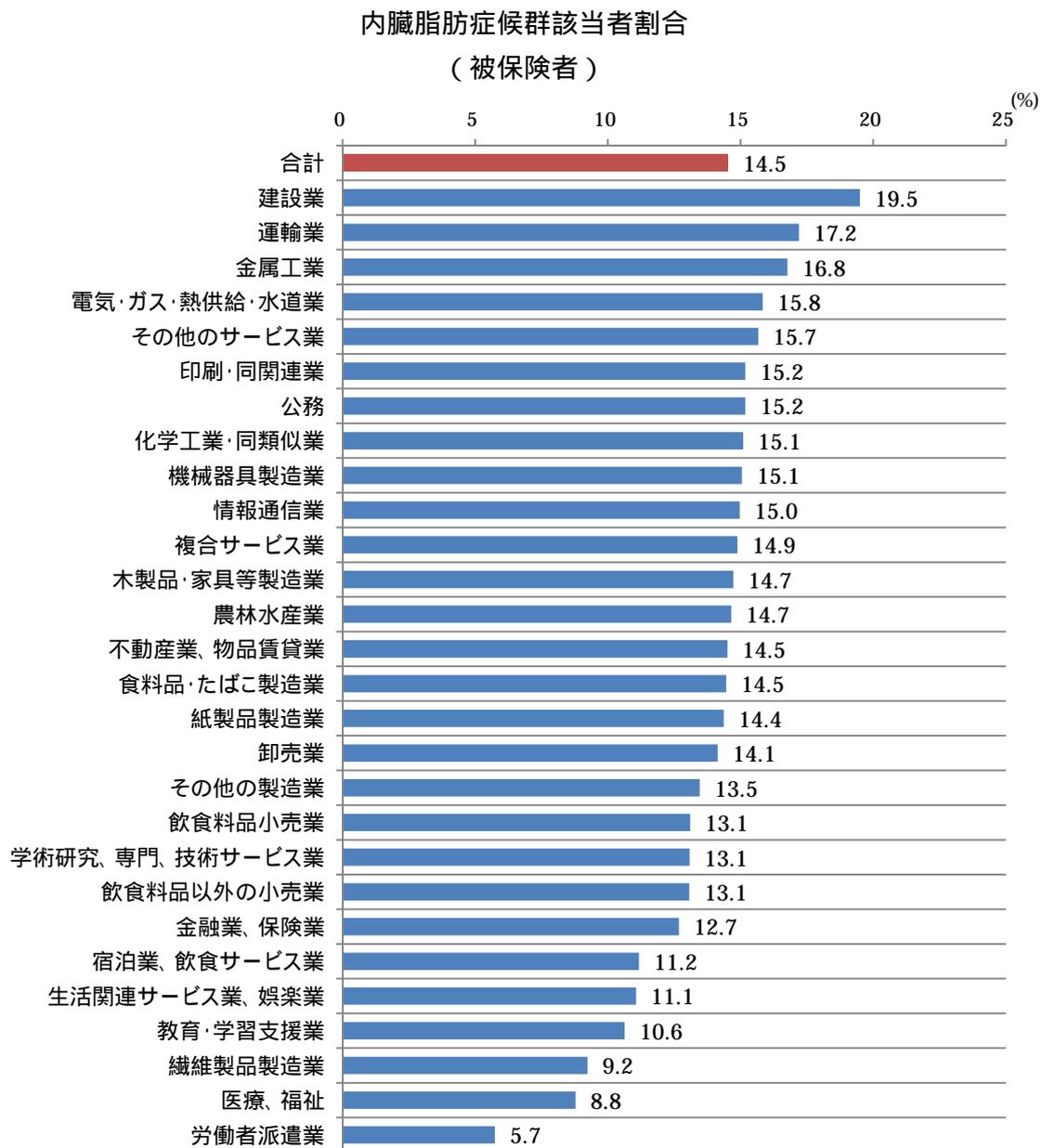
逆に低いのは、労働者派遣業：3.5%、農林水産業：4.0%、不動産業、物品賃貸業：4.6%となっている。



### 3. 被保険者の内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合

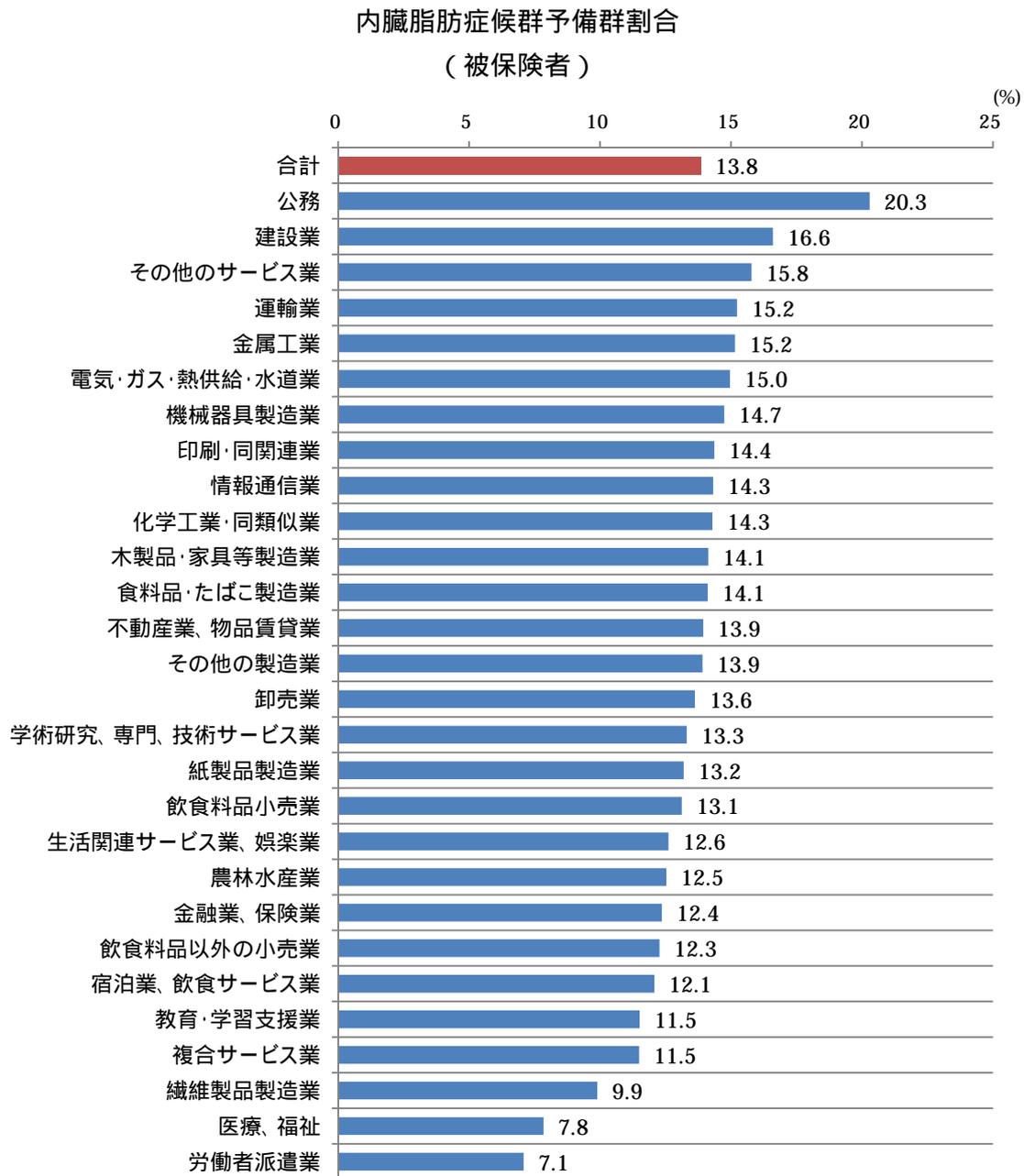
#### (1) 該当者

業態別に被保険者の内臓脂肪症候群該当者の割合をみると、建設業:19.5%が最も高く、次いで、運輸業:17.2%、金属工業:16.8%となっている。逆に低いのは、労働者派遣業:5.7%、医療、福祉:8.8%、繊維製品製造業:9.2%となっている。



## (2) 予備群

業態別に被保険者の内臓脂肪症候群予備群の割合をみると、公務:20.3%が最も高く、次いで、建設業:16.6%、その他のサービス業:15.8%となっている。逆に低いのは、労働者派遣業:7.1%、医療、福祉:7.8%、繊維製品製造業:9.9%となっている。



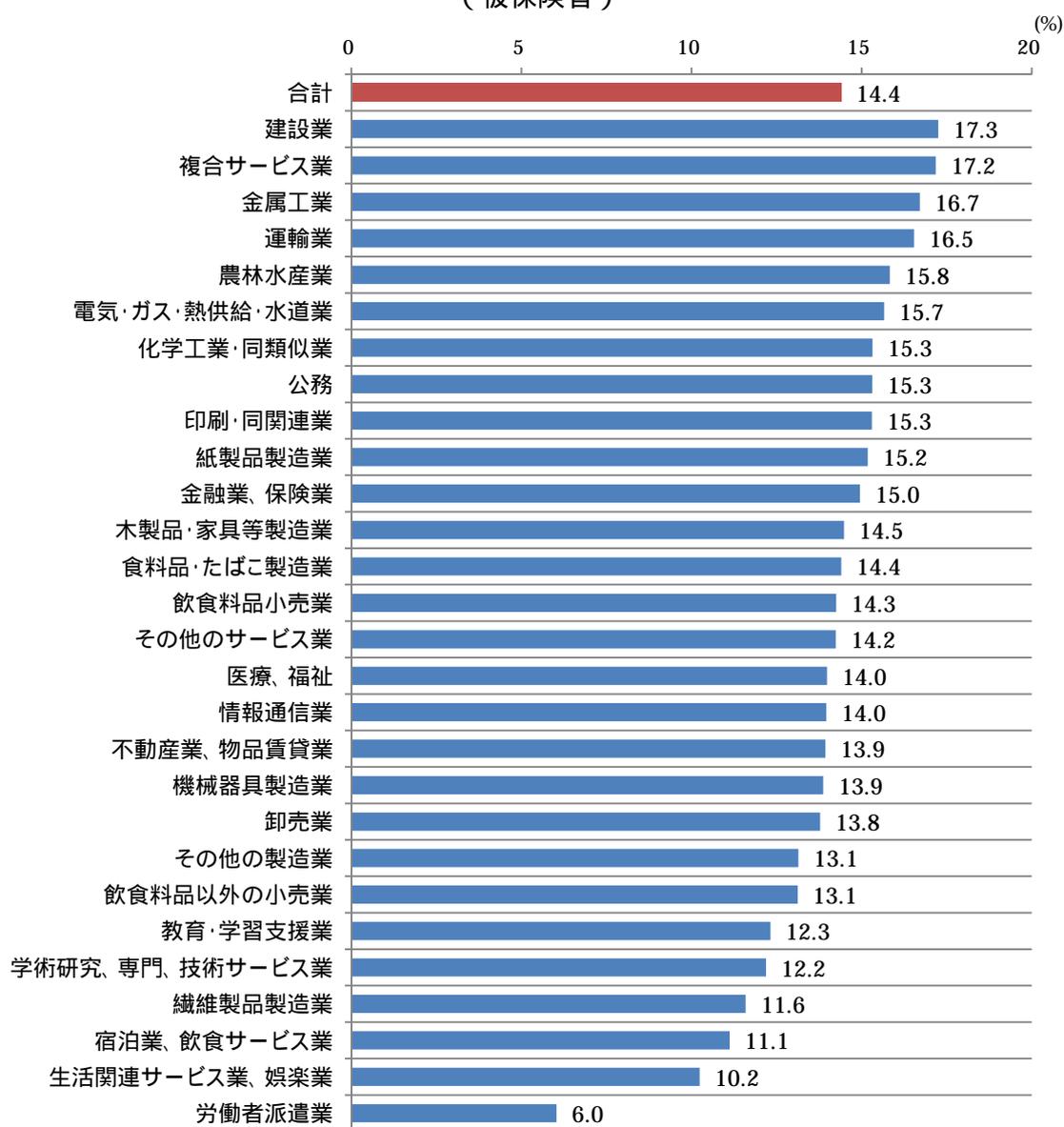
#### 4. 被保険者の3疾患の治療に係る薬剤を服用している者の割合

##### (1) 高血圧症

業態別に被保険者の「高血圧症」の治療に係る薬剤を服用している者の割合をみると、建設業:17.3%が最も高く、次いで、複合サービス業:17.2%、金属工業:16.7%となっている。

逆に低いのは、労働者派遣業:6.0%、生活関連サービス業、娯楽業:10.2%、宿泊業、飲食サービス業:11.1%となっている。

「高血圧症」の治療に係る薬剤を服用している者の割合  
(被保険者)

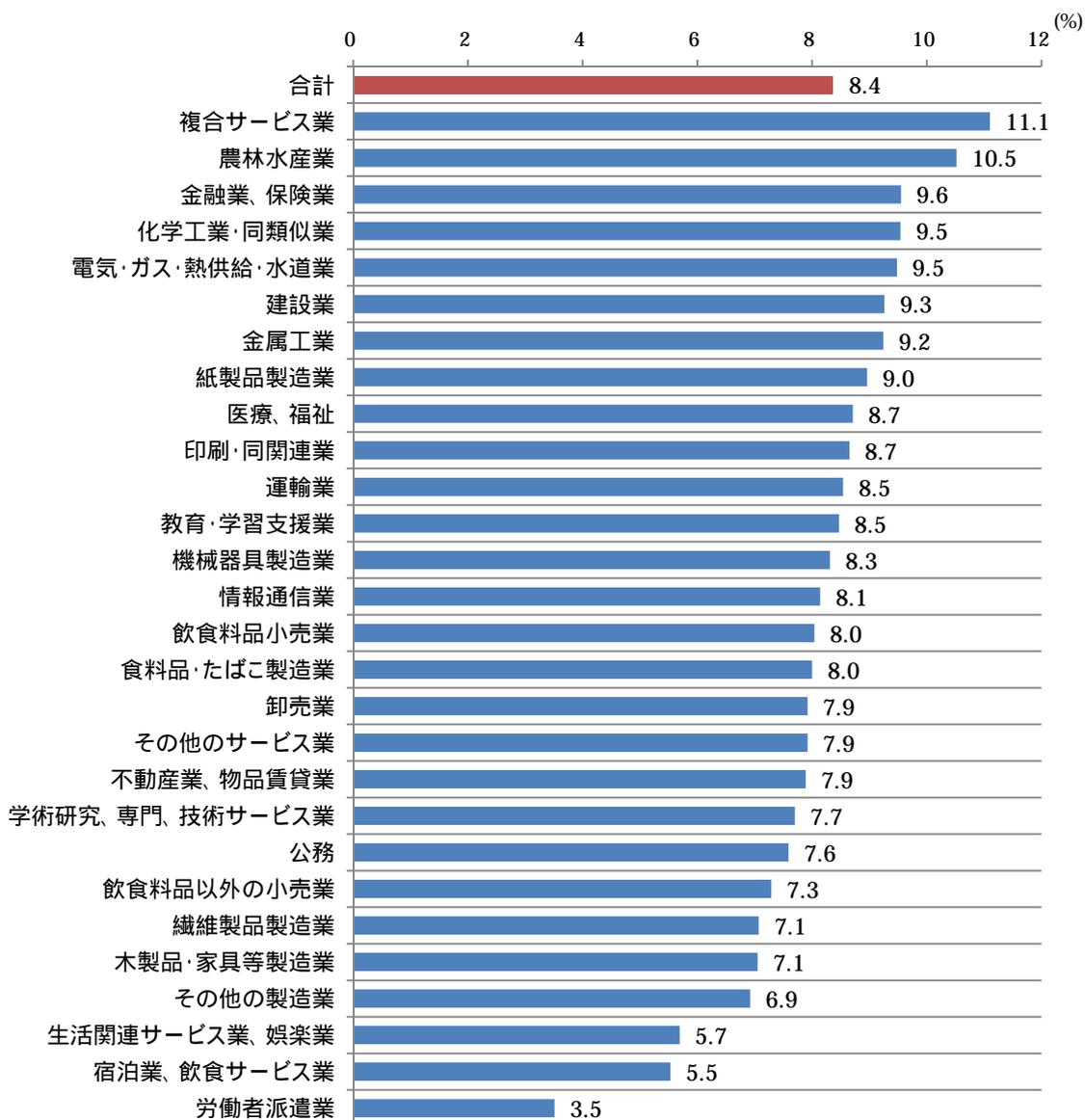


(2) 脂質異常症

業態別に被保険者の「脂質異常症」の治療に係る薬剤を服用している者の割合をみると、複合サービス業:11.1%が最も高く、次いで、農林水産業:10.5%、金融業、保険業:9.6%となっている。

逆に低いのは、労働者派遣業:3.5%、宿泊業、飲食サービス業:5.5%、生活関連サービス業、娯楽業:5.7%となっている。

「脂質異常症」の治療に係る薬剤を服用している者の割合  
(被保険者)



### (3) 糖尿病

業態別に被保険者の「糖尿病」の治療に係る薬剤を服用している者の割合をみると、建設業:5.8%が最も高く、複合サービス業:5.3%、運輸業及び金属工業:5.0%となっている。

逆に低いのは、労働者派遣業:1.6%、教育・学習支援業及び繊維製品製造業:2.7%、医療、福祉:3.0%となっている。

「糖尿病」の治療に係る薬剤を服用している者の割合  
(被保険者)

